GPS & RADAR DETECTOR
Lei02
6SS1573-B

GPS & RADAR DETECTOR

Lei02

取扱説明書

12V車専用　ダウンロード対応

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本機は、各種ターゲットの位置や種類を表示できるレーダー探知機です。

- レーダー波を発射しない取締り（光電管式、追尾方式など）やステルス型取締りの場合、事前に探知できませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。

目　次

保証書　（持込修理）

本書は、本書記載内容（右記載）で、無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品　番　**Lei02**		S/No.
お買い上げ年月日		年　月　日 お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。
保証期間		対象部分 機器本体（消耗部品は除く） お買い上げの日から1年
お客様	お名前	様
	ご住所	〒 TEL （　　　　）
販売店	店名・住所	上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

故障内容記入欄

無効

<無料修理規定>

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、専用問い合わせ先へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
   （イ）使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
   （ロ）お買い上げ後の移動、落下等による故障および損傷
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源（電圧、周波数）や異常電圧による故障および損傷
   （ニ）特殊な条件下等、通常以外の使用による故障および損傷
   （ホ）故障の原因が本製品以外にある場合
   （ヘ）本書のご提示がない場合
   （ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
   （チ）付属品や消耗品等の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.

※本書を紛失しないように大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。 従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、専用問い合わせ先にお問い合わせください。

株式会社 ユピテル
〒108-0023　東京都港区芝浦4-12-33

安全上のご注意

つづく

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用する方への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告：この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠注意：この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示について

⚠ この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

🚫 この記号は、してはいけない「禁止」内容です。

❗ この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

☛ この記号は、関連するページを示します。

● 安全上お守りいただきたいこと

⚠警告

❗ 異物が入ったり、水に浸かったり、煙が出ている、変な臭いがする等、異常な状態のまま使用しないでください。発火の恐れがありますので、すぐに使用を中止して、修理をご依頼ください。

❗ 万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する。そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

🚫 サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。感電や故障の原因となります。

🚫 穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。感電や故障の原因となります。

🚫 破裂、発火や火傷の原因となりますので、本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れないでください。また、本機を加熱したりしないでください。

🚫 本機を次のような場所に保管しないでください。変色したり、変形したり、故障の原因となります。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- 湿気やほこり、油煙の多い所
- ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

⚠注意

- 取り付けは確実に行ってください。本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。
- 突起部分などでケガをする恐れがありますので、取り付けや取り外しの際はご注意ください。
- 運転中にランプ類を注視しないでください。前方不注意による事故の原因になります。
- 走行中は運転者による操作、画面の注視をしないでください。このような行為は道路交通法第 71 条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。
- 運転者は走行中に操作しないでください。走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。
- 本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。

● 電源コードについて

⚠警告

- 電源コードは確実に差し込んでください。接触不良を起こして火災の原因となります。
- 指定以外のヒューズは使用しないでください。指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。
- お手入れの際は、シガープラグコードを抜いてください。感電の原因となります。
- シガーライターソケットは単独で使ってください。タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。
- シガーライターソケットやシガープラグコードのマイナス端子、プラス端子の汚れはよく拭いてください。接触不良を起こして火災の原因となります。
- 指定された電源電圧車以外では使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。
- コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。故障や感電の原因となります。

⚠警告

- 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付けてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。
- エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。

⚠警告

- 心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。
- 急発進したり急ブレーキをかけないでください。安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

⚠警告

- 粘着マット、粘着シートの貼り付け位置は、汚れ・ホコリを十分に落してください。粘着力を弱め、本機が脱落する恐れがあります。

⚠注意

- 気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使い続けないでください。
- 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。
- 落としたり、強いショックを与えない。破損、故障の原因となります。
- 各端子に異物が入ると、故障の原因となることがありますので取り扱いにご注意ください。
- ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。塗装面を傷めます。
- 濡れた手で操作しないでください。感電の原因となります。
- 本機は精密機械です。静電気/電気的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

⚠注意

- OBD II アダプターを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らないでください。電源ケーブルに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ず OBD II アダプターの本体部分を持って抜いてください。
- お手入れの際は、OBD II アダプターを抜いてください。感電の原因となります。

⚠注意

- 車から離れるときは、電源を OFF にしてください。使用しないときは電源を OFF にしてください。

使用上のご注意

■ 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。

■ 電波の透過率が低いガラス（金属コーティングの断熱ガラスなど）の場合、電波が受信しにくくなり、GPS測位機能（☛38ページ）が、はたらかない場合や、取締レーダー波の探知距離が短くなる場合があります。

表示部

- 表示部を強く押したり、衝撃を与えないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
- 周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。

取り付け（☛11ページ）に関する注意

- GPS衛星からの電波やレーダー波を受信しやすくするため、障害物や遮へい物のない視界の良い場所に取り付けてください。
- 車載されている他の電装機器のアンテナの近くなど、他の電装機器の電波干渉によりGPS衛星の電波を受信できない場合があります。本機を取り付ける場所は、他の電装機器との間隔を十分取ってください。
- 水がかかったり、熱風があたる場所には取り付けないでください。
- 本機あるいは電源コードが、ドアの開閉部などにあたったり、はさまれないようにしてください。
- 本機を道路に対して水平に、またレーダー/無線アンテナ部が進行方向に取り付けていないと、Gセンサー/ジャイロセンサーが正しく動作しないことがあります。

電源直結コードに関する注意

- 電源直結コードは、別売品のUSB電源直結コード（OP-E601）をご使用ください。
- USB電源直結コードには、ヒューズホルダーが接続されています。ヒューズが切れた場合は、部品の紛失に注意し、市販の新しいヒューズ（2A）と交換してください。
なお、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、本機からUSB電源直結コードを抜いて、専用お問合わせ先にご相談ください。（☛98ページ）

シガープラグコードに関する注意

- シガープラグコードは、必ず付属品をご使用ください。
- シガープラグ内部には、ヒューズとスプリングが入っています。ヒューズが切れた場合は、部品の紛失に注意し、市販の新しいヒューズ（2A）と交換してください。
なお、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、本機からシガープラグコードを抜いて、専用お問合わせ先にご相談ください。（☛98ページ）

レーダーアラーム（☛36ページ）に関する注意

- 走行環境や測定条件などにより、取締りレーダー波の探知距離が変わることがあります。
- 狙い撃ちの取締り機（ステルス型取締り機）は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間にあわない場合があります。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。（☛37ページ）
- レーダー波を使用しない速度取締り（光電管式など）の場合、事前に探知することができませんので、あらかじめご了承ください。（☛88ページ）

GPS測位機能（☛38ページ）に関する注意

- 本機を初めてご使用になる場合は、GPS測位が完了するまで20分以上時間がかかる場合があります。
- 車載TVをUHF56チャンネルに設定していると、GPS測位できない場合があります。UHF56チャンネル受信周波数が障害電波となり、GPS受信に悪影響を与えるためです。
- 新たに設置されたオービスなどのターゲットは、GPS警報できませんのであらかじめご了承ください。
- GPS警報の左右方向識別ボイス（☛44ページ）は、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。

無線14バンド受信機能（☛45ページ）に関する注意

- カーオーディオやカーナビ、カーエアコン、ワイパー、電動ミラーなどのモーターノイズにより、反応する場合があります。あらかじめご了承ください。
- カーロケーターシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。
現在は受信可能な地域であっても今後、新システムへの移行により受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
新システムが導入された地域や、新システムに移行した場合、カーロケ無線の警報や、ベストパートナー6識別（☛46ページ）は、はたらきません。

画面表示に関する注意

- 日付および時刻は、GPS測位により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。（測位状況により日付や時刻が合わないことがあります。）
- 時刻の表示は、24時間表示です。12時間表示に変更することはできません。
- 走行速度やGPSターゲットまでの距離、自車アイコンは、GPSやGセンサー、ジャイロセンサー、マップマッチングシステムにより計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合もあります。
- 車両の速度計は、実際より数値が高く表示される（プラス誤差）傾向があります。
- 渋滞や低速走行時（発進直後を含む）は、速度表示を正しく表示しないことがあります。
- 画面に表示される地図のデータ更新はできません。

別売品のOBD II アダプター（OBD12-RP）（☛10ページ）で接続した場合

- 取り付ける車両によっては表示できない待受画面の項目があります。
- イグニッションをOFFにしてから本機の電源がOFFするまで、数秒から数十秒かかります。
- 車検、点検等の後は、故障診断装置接続の為本機のOBD II アダプター（OBD12-RP）が抜けている場合があります。その際はエンジンキーがOFFの時に再度OBD II コネクターへ本機のOBD II アダプター（OBD12-RP）を挿し込んでください。

microSDカード（☛14ページ）に関する注意

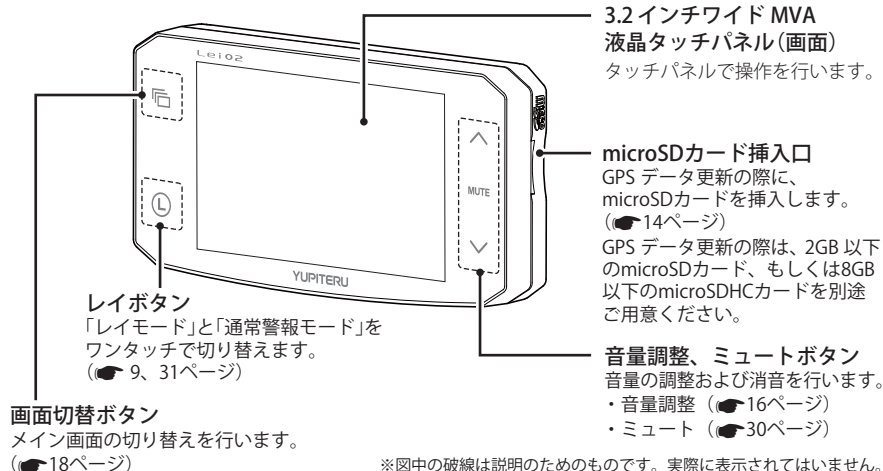
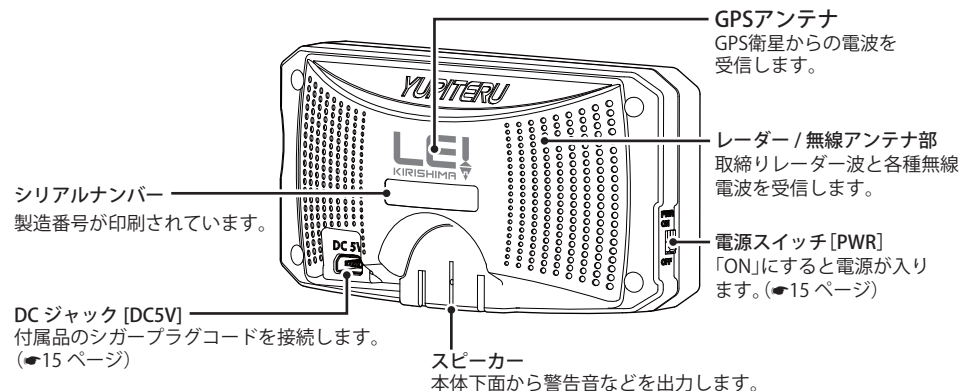
- GPSデータ更新の際は、市販の2GB以下のmicroSDカードまたは、8GB以下のmicroSDHCカードを別途ご用意ください。
- microSDカードの出し入れは、本体の電源をOFFにした状態で行ってください。
- microSDカードは一方向にしか入りません。無理に押し込むと、microSDカードが壊れることがあります。
- 本書では「2GB以下のmicroSDカード、8GB以下のmicroSDカード」を「microSDカード」と略記することがあります。

※microSDカードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。

- 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- 本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- 本製品の取り付けによるダッシュボードの変色・変形（跡が残る）に関し、当社では補償いたしかねます。

前面

液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。

※図中の破線は説明のためのものです。実際に表示されてはいません。

背面

- ●ターゲット74識別
  - ・GPS51識別
  - ・無線14バンド識別
  - ・ベストパートナー6識別
  - ・レーダー波3識別

- ●マップマッチングシステム
- ●Gセンサー＆ジャイロセンサー
  - ・高精度な警報が可能
  - ・加速度、傾斜の待受画面

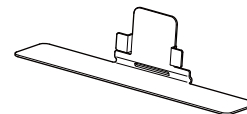
- ●パワーGPS-EX
- ●GPSスタビライザー
  - ・一度捕まえたら逃がしにくい、安定重視のGPS受信

- ●オービスロケーションガイド
  - ・オービスの手前500mで目標物（交差点・バス停・陸橋・高速のキロポスト）と、オービスの種類などのアナウンスをより安全でわかりやすく行います。

付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

● ダッシュボード取付け用ブラケット

● 直付ステー

● 粘着マット

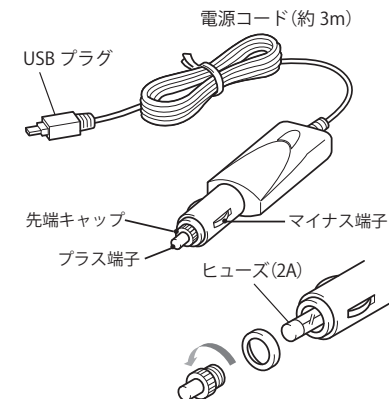
● 粘着シート

● 直付け用両面テープ

● 取扱説明書・保証書（本書）

●5Vコンバーター付シガープラグコード（ストレートUSBプラグDC5V出力）

※ シガープラグコードは、別売品のUSB電源直結コード（ストレートUSBプラグDC5V出力）（OP-E601）やOBD IIアダプター（OBD12-RP）をご使用の場合、使用できません。

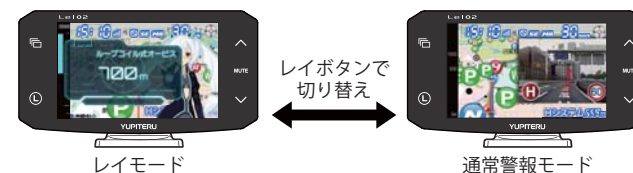
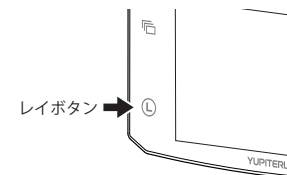
※ 紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、、専用お問合わせ先にご相談ください。（☛98ページ）

レイボタンについて

本機はレイボタンを押すことで、ワンタッチで「レイモード」と「通常警報モード」を切り替えることができます。「通常警報モード」にすると、画面にレイが一切出てこなくなり、設定画面などでもレイ設定ができなくなります。

※「レイモード」でもレーダー波などの警報は行います。

※本機が起動した状態でモードを切り替えます。モードを切り替えると、次回起動時もモードが維持されます。

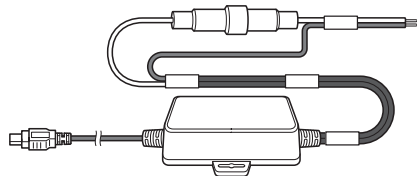
レイボタンで切り替え

レイモード　　通常警報モード

※画面は参考です。

別売品のお知らせ

▍USB電源直結コード（ストレートUSBプラグDC5V出力）(OP-E601)（約4m）本体2,000円＋税

シガーライターソケットを使わずに、車内アクセサリー系端子から直接電源をとることができます。

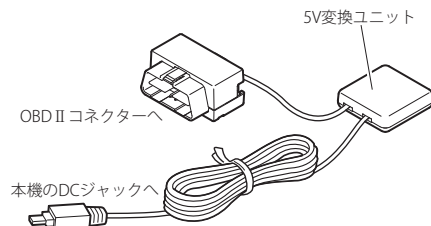
※ 付属品のシガープラグコードや別売品のOBD II アダプター(OBD12-RP)をご使用の場合、使用できません。

▍OBD II アダプター (OBD12-RP)（約3m）本体8,000円＋税

本機を車両側のOBD II コネクターと接続し、車両に関する情報を表示します。(☛25ページ)
トンネル内などGPS電波を受信できない場合でも、本機で車両の速度を表示させることができます。

※ 車種により、表示できない情報があります。適応車種は弊社ホームページの適応表をご覧ください。

※ 初めてOBD II アダプター (OBD12-RP)を車両に取り付ける場合は、レーダー探知機の起動に数分かかることがあります。

※ OBD II アダプター (OBD12-RP)を使用した場合、イグニッションをONにしてから本機の電源がONになるまで数秒から数十秒かかります。また、イグニッションをOFFにしてから本機の電源がOFFになるまで、数秒から数十秒かかります。この間、OBD II アダプターを抜かないでください。

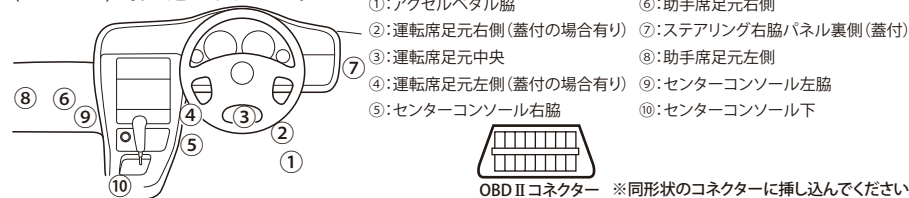
※ OBD II アダプター (OBD12-RP)を使用した場合、シガープラグコード（付属品）、USB電源直結コード(OP-E601)（別売品）は使用できません。

OBD II とは？

On-board diagnostics II
制御コンピューターに接続し、車両情報を本機の待受画面などに表示することができます。(☛25ページ)

OBD II アダプター(OBD12-RP)の取り付け

車両によってOBD II コネクターの位置が変わりますので、下記の10か所を確認し、OBD II アダプター(OBD12-RP)を挿し込んでください。

①:アクセルペダル脇
②:運転席足元右側（蓋付の場合有り）
③:運転席足元中央
④:運転席足元左側（蓋付の場合有り）
⑤:センターコンソール右脇
⑥:助手席足元右側
⑦:ステアリング右脇パネル裏側（蓋付）
⑧:助手席足元左側
⑨:センターコンソール左脇
⑩:センターコンソール下

OBD II コネクター　※同形状のコネクターに挿し込んでください。

GPS衛星からの電波を受信しやすくするため、障害物や遮へい物のない視界の良い場所に取り付けてください。

つづく

本機は、自由自在な角度調整が行えるボールジョイント方式のブラケットを採用しています。［特許出願中］
また、国土交通省の保安基準改正によるフロントガラスの取り付け規制に伴い、新素材の粘着マットを採用し、ダッシュボードへの取り付けをスマートにしました。

粘着マットについて

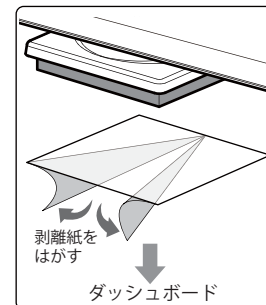
ダッシュボードに安定して設置できます。

※ 粘着マットで安定した取り付けができない場合は、付属品の粘着シートを併せて使用するか、市販の強力型両面テープ（厚さ2mm以上）を使用し、取り付けてください。

※ 取り付けにより、ダッシュボードに跡が残ったり、変色や変形が生じることがあります。
ご使用の有無に関わらず、お車への補償はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

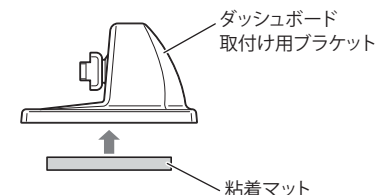
粘着マットの上手な使いかた

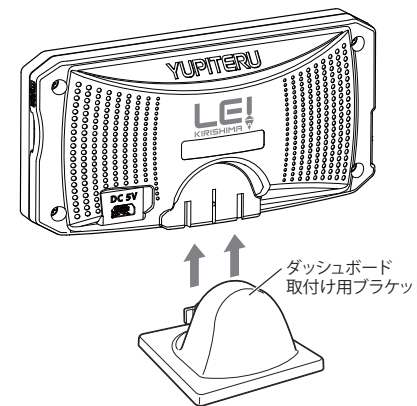
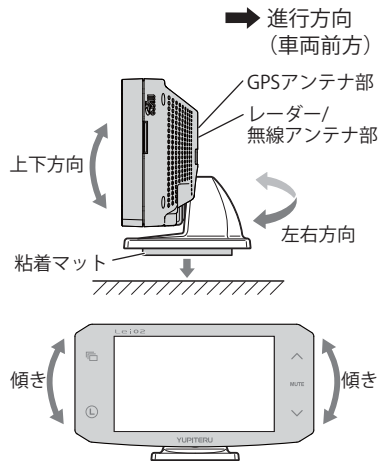
- 貼る場所の表面に、ホコリや汚れがないことを確認してください。
- 貼り付ける側の保護シートをはがし、しっかり貼り付けてください。
- できるだけ水平に近い平坦な場所に取り付けてください。
- ホコリや汚れなどで粘着力が弱くなった場合は、中性洗剤を使い水洗いすると粘着力が復元します。

粘着シート［特許出願中］

粘着マットで安定した取り付けができない場合は、付属品の粘着シートを使用します。ダッシュボードに粘着シートを貼り付けた上に粘着マットを貼り付けます。
粘着シートは、剥がして再度貼り付けることができます。それでも安定した取り付けができない場合は市販の強力型両面テープ（厚さ2 mm 以上）を使用し取り付けてください。

車両のダッシュボードへの取り付け

ダッシュボード取付け用ブラケットを使用して取り付ける

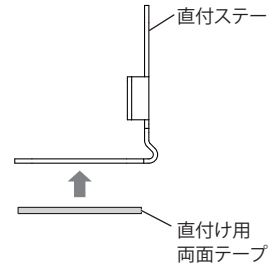
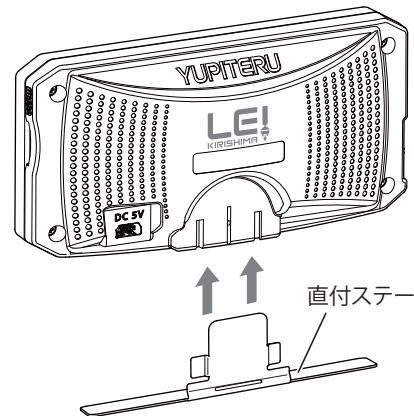
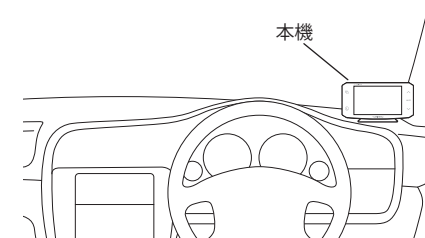
1 ダッシュボード取付け用ブラケットに粘着マットを貼り付ける

2 本機にダッシュボード取付け用ブラケットを取り付ける

GPS衛星からの電波を受信しやすくするため、障害物や遮へい物のない視界の良い場所に取り付けてください。

3 本機を道路に対して水平に、またレーダー/無線アンテナ部が進行方向（車両前方）を向くように角度を調整し、ダッシュボードに取り付ける

- ダッシュボードから外す場合は、ダッシュボード取付け用ブラケットの下部を持って、ゆっくりと行ってください。本機やダッシュボード取付け用ブラケット上部を持つと、破損の原因となります。
- GPSの電波が受信しやすい場所で、レーダー/無線アンテナ部が進行方向（車両前方）を向くように取り付けてください。
- 本機を道路に対して水平に取り付けてください。Gセンサーやジャイロセンサーが正しく動作しないことがあります。

画面のお手入れについて

- 画面に付いた汚れを清掃するときは、電源をOFFにしてから、柔らかい布（メガネ拭きなど）で、から拭きしてください。
- ぬれた布は使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品を使用して拭かないでください。

直付ステーを使用して取り付ける

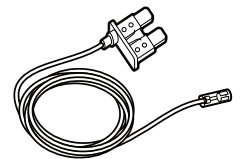
1 直付ステーに両面テープを貼り付ける

2 本機に直付ステーを取り付ける

3 ダッシュボードやメーター付近などに貼り付ける

- 両面テープは、あらかじめ、貼る場所のチリや汚れ、脂分をよく落としたあと、慎重に貼ってください。貼り直しは、テープの接着力を弱め、脱落する恐れがあります。
- 水がかかったり、温度差が激しい場所（エアコンの吹き出し口付近など）には、取り付けないでください。
- 本機あるいはコードが、ドアの開閉部などにあたったり、はさまれたりしないようにしてください。

電源について

USB電源直結コード（別売品）の使いかた

ヒューズボックスから電源をとることができます。平型ヒューズタイプの電源取り出しコード（市販品）をお買い求めいただき、次のように接続してください。

※ 平型ヒューズにはノーマルサイズとミニサイズがあります。あらかじめ、ヒューズボックス内のヒューズのサイズと容量をご確認のうえ、お買い求めください。

▮ 平型ヒューズタイプ
電源取り出しコード
（市販品）

接続方法

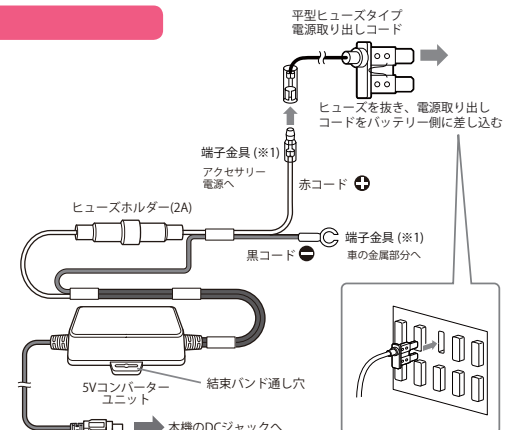
- 作業中のショート事故防止のため、接続前に必ず車のバッテリーのマイナス端子を外してください。

※ カーナビやラジオ、オーディオなどを搭載した車では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。

- 平型ヒューズタイプ電源取り出しコードに付属の取扱説明書をよくお読みになり、接続手順や注意事項などを守ってください。
- USB電源直結コード（OP-E601）に付属の取扱説明書も併せてお読みください。

（※1）：USB電源直結コードに端子金具は添付されておりませんので、市販品をお買い求めください。

microSDカードの出し入れ

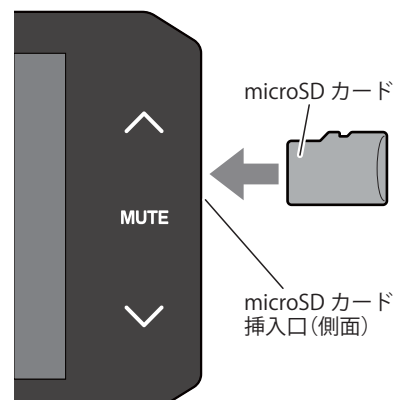
はじめに

GPS ターゲットデータ更新 (☛88 ページ) の際は、市販の 2GB 以下の microSD カードまたは、8GB 以下の microSDHC カードを別途ご用意ください。
※ microSD カード との相性による動作の不具合については保証いたしかねます

⚠ 注 意

- microSDカードの出し入れは、必ず電源がOFFの状態で行ってください。
- microSDカードは一方向にしか入りません。microSDカードを下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本機やmicroSDカードが壊れることがあります。
- microSDカードを接続したままの状態や、半分挿入した状態でご使用にならないでください。

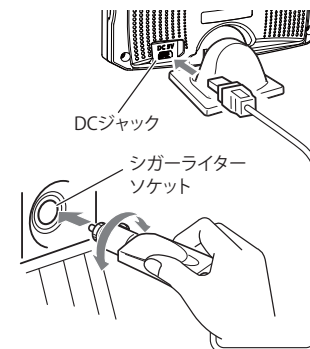
1 電源を OFF にして microSD カード挿入口に、microSD カードを『カチッ』と音がするまで差し込む

下図の向きに合わせて差し込んでください。

- microSD カードは、本機専用でご使用ください。
- データ更新中は、絶対に microSD カードを抜かないでください。
- microSD カードを取り出すときは、カードを押し込み、カードが少し飛び出してから引き出します。
- microSD カードを取り外したあとは、各 microSD カードの説明書の指示に従って大切に保管してください。

基本的な使いかた

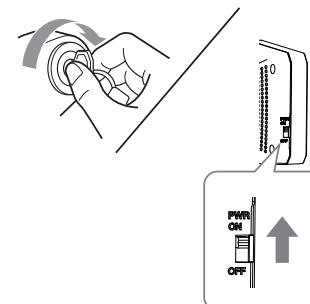
つづく

1 付属品のシガープラグコードを、DCジャックと車のシガーライターソケットに差し込む

シガープラグは、2～3回左右にひねりながら差し込みます。

⚠ 注 意

- 本機のDCジャックはUSB端子ではありません。故障を防止するため、本機をパソコンなど他のUSB接続機器と接続しないでください。

2 電源をONにする

車のエンジンを始動し、電源スイッチを「ON」にすると電源が入ります。
オープニング表示します。

3 電源が入ると、「GPS測位機能」(☛38ページ)がはたらき、GPSの電波を受信すると、『GPSを受信しました』とお知らせします

< メイン画面 >（例：フルマップ 2D（白地図））

< 地図スケール変更画面（☛35 ページ）>
3 秒間操作しないと、メイン画面に戻ります。

< メインメニュー画面 >
[メイン画面] にタッチすると、メイン画面に戻ります。

はじめに

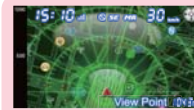
4 音量を調節する

画面右側の音量調整ボタンで音量を消音〜最大までの11段階で調節します。
「ピッ」音とボリュームゲージの増減でボリュームを表示します。

3秒間操作しないと、メイン画面に戻ります。

メイン画面は変更できます

メイン画面は警報やお知らせがない間、継続的に表示させておくことができる画面です。お買い上げ直後は、本機が自動的に「フルマップ 2D（白地図）」または「フルマップ 2D（黒地図）」を切り替えて表示するようになっています。
これをお好みで違う画面に変更できるように、以下の画面が用意されています。

画面切替の方法については 19 ページへ。

サイバーマップ 2D

［MAP 画面］グループ

フルマップ 2D（白地図）

フルマップ 3D（白地図）

フルマップ 2D（黒地図）

フルマップ 3D（黒地図）

［レーダー待受］グループ

時計・スピード

傾斜

GPS 測位状況

加速度

マップスコープ

壁紙

［OBD II 情報］グループ

マルチメーター

グラフ（速度とエンジン回転数）

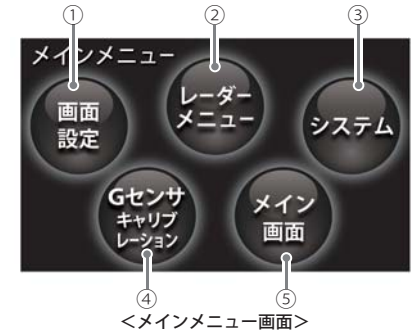
エンジン負荷

OBD データ

※別売品の OBD II アダプター（OBD12-RP）が接続されていない場合、［OBD II 情報］の画面はサンプル表示となりますのでご了承ください。

メインメニュー

メインメニューを表示させる

＜メインメニュー画面＞

No.	表示名	表示内容
①	**画面設定**	タッチすると、画面設定の画面が表示されます。 画面表示の設定を変更することができます。（☛ 18、76 ページ）
②	**レーダーメニュー**	タッチすると、レーダーメニューの画面（☛ 48ページ）が表示されます。 レーダーメニューの設定を変更することができます。（☛ 49ページ）
③	**システム**	タッチすると、設定の画面が表示されます。 システム設定などを変更できます。（☛ 78ページ）
④	**Gセンサ キャリブレーション**	タッチすると、Gセンサのリセットをおこない、現在の傾斜角をゼロに設定します。
⑤	**メイン画面**	タッチすると、メイン画面に戻ります。

Gセンサ　キャリブレーションについて

初めて電源を入れる場合や、本機の位置を変更した場合、また、傾斜、加速度などの画面で平坦なところでも明らかに違う数値を示していた場合は「Gセンサ キャリブレーション」を行い、本機の傾斜角をリセットしてください。

※「Gセンサ キャリブレーション」をおこなう場合は、必ず傾斜のない平坦な場所で静止して行ってください。
移動しながら行うと、正確に設定できません。

メイン画面の切り替え

警報やお知らせがない間に表示させておくことができる、[MAP画面]グループ（フルマップ）、[レーダー待受]グループ（各種待受画面およびマップスコープ）、ならびに[OBD II 情報]グループ（OBD II データを使用した各種画面）の画面が用意されています。

※別売品のOBD II アダプター（OBD12-RP）が接続されていない場合、[OBD II 情報]の画面はサンプル表示となりますのでご了承ください。

メイン画面の切替方法

メイン画面の選択は、メニュー画面で[MAP画面]（5種類）、[レーダー待受]（5種類＋壁紙）または[OBD II 情報]（4種類）のグループの中からひとつ選択したあと、画面枠外の画面切替ボタンでグループ内のお好みの画面に切り替えることができます。

1 メイン画面にタッチし、メインメニュー画面を表示させます

2 [画面設定]にタッチします

- 画面設定メニューが表示されます。

3 [画面選択]にタッチします

- 画面選択メニューが表示されます。

4 [MAP画面]、[レーダー待受]または[OBD II 情報]の中から表示させたい画面のアイコンにタッチします

- 説明のために、「MAP画面」を選択したものとします。（[レーダー待受]、[OBD II 情報]を選択しても、手順は同じです。）

つづく

画面選択
MAP画面
レーダー待受
OBDⅡ情報
メイン画面
戻る

5 最後に[メイン画面]にタッチして、メイン画面に戻ります

- [メイン画面]にタッチしないと変更が確定しません。
- [画面切替]ボタンを押すと、[MAP画面]グループの中で画面が切り替わります。([レーダー待受]、[OBD II 情報]の場合でも、それぞれのグループの中で画面が切り替わります。)

[MAP画面]グループ画面の切り替えとフレックスディマーについて

フレックスディマー
ONになっていると本機が昼間と夜間を判別し、白地図と黒地図のフルマップを自動的に切り替えて表示します。
フレックスディマーのON / OFFについては、76ページへ。

メイン画面に[MAP画面]が選択されている場合、フレックスディマーのONまたはOFFによって、画面切替ボタンを押した際に表示される画面が異なります。
サイバーマップ2Dは「フレックスディマーON / OFF、昼間 / 夜間画面」どの設定でも同じ表示です。

フレックスディマーON

自動的に本機が昼間と夜間を判別し切り替えます。

昼間画面

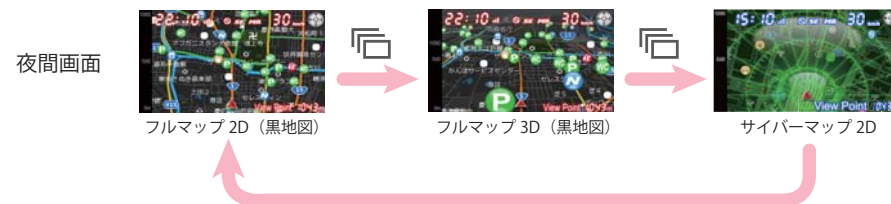
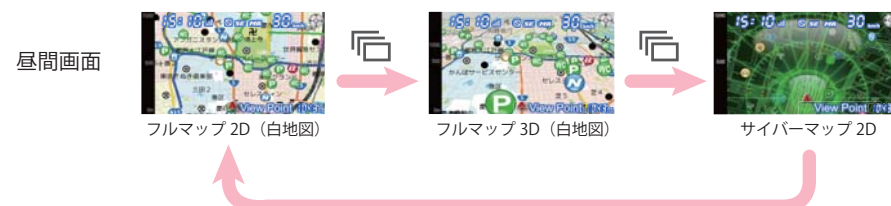
フルマップ2D（白地図）　フルマップ3D（白地図）　サイバーマップ2D

夜間画面

フルマップ2D（黒地図）　フルマップ3D（黒地図）　サイバーマップ2D

フレックスディマーOFF

フルマップ2D（白地図）　フルマップ3D（白地図）　サイバーマップ2D

サイバーマップ2D　フルマップ3D（黒地図）　フルマップ2D（黒地図）

画面の輝度設定(☛32ページ)で昼間輝度と夜間輝度の設定値が異なっていても、5つの画面すべてについて本機が昼間または夜間を自動で判別して、設定された輝度で表示します。(例：黒地図でも昼間時は昼間輝度で表示されます。)

[MAP画面]の詳細

フルマップ(2D(白地図/黒地図)/3D(白地図/黒地図))とサイバーマップ2Dの5 種類の画面が用意されています。ここでは、フルマップ2D(白地図)の画面を使って詳細を説明します。

(例)<フルマップ2D(白地図)>
本格的なロードマップスタイル

※ 地図方向は、ヘディングアップ固定（常に進行方向が上になるように表示）となります。ノースアップ（常に北が上になるように表示）に変更することはできません。
※ フルマップの画面は、すべての道路が表示されるわけではありません。

ミュートアイコン表示
警報音あり　警報音なし

No.	表示名	表示内容
①	スケール	地図スケールを表示します。100m、250m、500m、1,000m、2,000mの5段階から選択できます。(☛35ページ)
②	時計	現在時刻を表示します。
③	GPSターゲットアイコン	GPSターゲットのアイコンを表示します。 アイコンの色は、緊急度の高い順に「赤」→「黄」→「青」→「緑」の４色に識別して表示します。(☛23ページ) ターゲット表示されている時は、アイコンの周りが点滅してどのアイコンがターゲットか分かります。
④	ステータスアイコン	GPS電波受信レベル・車上狙い多発エリア・駐車禁止エリア・レーダー波受信感度・お好みモード選択の各アイコンを表示します。(☛32ページ)
⑤	方位磁針	方位磁針です。
⑥	自車速度	走行速度(自車速度)を表示します。
⑦	現在地	地図上の自車位置を表示します。進行方向が常に上を向きます。
⑧	ターゲット表示エリア	GPSターゲット名の表示と、GPSターゲットまでの距離を表示します。 対象となるGPSターゲットアイコンの周りが点滅してお知らせします。
⑨	警報表示エリア	各種警報の種類とレーダー波3識別(レーダー、ステルス、キャンセル)・無線名を表示します。 レーダー波3 識別・無線の距離は表示されません。
⑩	ミュートアイコン	レーダー波を受信中(レーダー警報中)、画面にミュートボタンが表示されます。タッチすると警報音をミュート(消音)することができ、受信中のレーダー波がなくなるまで、警告音を一時的に鳴らなくすることができます。もう一度タッチするとミュートは解除されます。

・初期値は、「フルマップ2D」に設定されています。
・時刻は、GPS測位により自動的に設定され、時刻合わせの操作は不要です。
（測位状況により時刻が合わないことがあります。）
・時刻の表示は、24時間表示です。
・走行速度はGPSの電波に基づき表示しています。別売品のOBD II アダプター (OBD12-RP)で接続した場合は、OBD II 車速検知に基づき表示しています。また、車両の速度計は、数値が高く表示される（プラス誤差）傾向があります。

GPSターゲットアイコン表示について

GPS ターゲットアイコンの色は、注意度の高い順に「赤」→「黄」→「青」→「緑」の４色に識別して表示します。

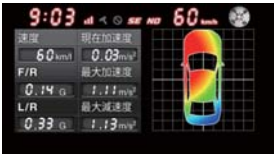
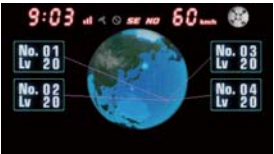
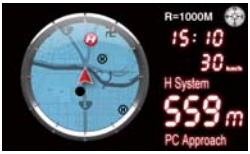
アイコン	警報の内容
LC	ループコイル(赤色)
LH	LHシステム(赤色)
H	新Hシステム(赤色)
RD	レーダー式オービス(赤色)
	ネズミ捕りエリア(黄色)
	移動オービスエリア(黄色)
	追尾式取締エリア(黄色)
STOP	一時停止取締エリア(黄色)
	交差点取締エリア(黄色)
	その他取締エリア(黄色)
	シートベルト検問エリア(黄色)
	飲酒検問エリア(黄色)
	携帯電話検問エリア(黄色)
	その他検問エリア(黄色)
	高速道 交通警察隊(黄色)
	交差点監視ポイント(黄色)
	信号無視抑止システム(黄色)
	一時停止ポイント(黄色) ※地図スケールが 250m 以下の時のみ表示

アイコン	警報の内容
N	Nシステム(青色)
	交通監視システム(青色)
	警察署(青色)
	事故多発エリア(青色)
	急カーブ・連続カーブ（青色）
	踏切（青色）
	消防署（青色）
	交番（青色）
SA	サービスエリア(緑色)
PA	パーキングエリア(緑色)
	ハイウェイオアシス(緑色)
	ハイウェイラジオ受信エリア(緑色)
	道の駅(緑色)
	ビューポイントパーキング(緑色)
P	駐車場(緑色)
	高速道 長いトンネル(緑色)
	高速道 連続トンネル(緑色)
WC	公衆トイレ（緑色） ※地図スケールが 1,000m 以下の時のみ表示

[レーダー待受]の詳細

警報待受時の画面を時計・速度表示などの画面に設定できます。

時計・スピード

傾斜

加速度

GPS 測位状況

マップスコープ

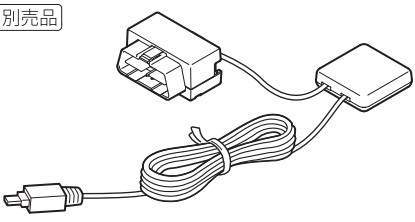
壁紙

名称	説明
時計・スピード	時刻と走行速度をアナログ表示します。
傾斜	車両の傾きを水平儀のイラストで表示します。
加速度	車両に加わる加速度の状態を赤→黄色→緑→青のグラデーションで表示します。
GPS 測位状況	衛星位置、衛星ナンバー、受信レベルを表示します。
マップスコープ	MAP画面をシンプルなスコープ画面にして表示します。GPSターゲットアイコン表示については、23ページをご覧ください。
壁紙	いろいろな壁紙を用意しています。

・初期値は、「時計・スピード」に設定されています。
・時刻は、GPS測位により自動的に設定され、時刻合わせの操作は不要です。（測位状況により時刻が合わないことがあります。）
・時刻の表示は、24時間表示です。
・走行速度はGPSの電波に基づき表示しています。別売品のOBD II アダプター (OBD12-RP) で接続した場合は、OBD II 車速検知に基づき表示しています。
また、車両の速度計は、数値が高く表示される（プラス誤差）傾向があります。
・マップスコープの地図方向は、ヘディングアップ固定（常に進行方向が上になるように表示）となります。ノースアップ（常に北が上になるように表示）に変更することはできません。
・マップスコープ内の地図は、すべての道路が表示されるわけではありません。

[OBD II 情報]の詳細

別売品

<OBD II アダプター (OBD12-RP)>

ここで説明している画面は、別売品のOBD II アダプター(OBD12-RP) (☛10ページ) で接続した場合に正確な数値等を表示をします。車種によってOBD II から読み出される内容の違いにより、下記の現象が現れる場合がありますが、不良ではありません。（車種別の適応については、販売店または弊社ホームページでご確認ください。）
・待受画面内の一部の項目が表示されない場合があります。
・「スロットル開度」は、エンジンがアイドリング状態でも表示が0%にならないことがあります。
・表示する内容は、純正メーターの数値やタイミングと異なる場合があります。

※待受画面内の表示は、車両のOBD II から読み取った数値を基に表示した目安です。実際の走行状況との誤差が発生する場合があります。
※付属品のシガープラグコード、または別売品のUSB電源直結コード (OP-E601) で接続した場合でも、画面自体は表示されますが、画面内の数値等はすべてダミーとなりますのでご了承ください。

[燃料使用量]、[瞬間燃費]、[今回燃費]、[全道路平均燃費]、[一般道平均燃費]、[高速道平均燃費]、[トリップメーター（区間燃費）]の数値表示が実際（走行距離/給油量）と大幅に異なる場合は、「満タンスタート」(☛79ページ) と「満タン補正」(☛81ページ) を行うことで、精度を上げることができます。
※初めてOBD II アダプター (OBD12-RP) で接続した場合は、「満タンスタート」と「満タン補正」を行ってください。

警報待受時の画面を車両側OBD II の各種数値を用いた画面に設定できます。

マルチメーター

グラフ（速度とエンジン回転数）

エンジン負荷

OBD データ

名称	説明
マルチメーター	12種類のメーターの中から3種類を選択して表示させることができます。(☛26ページ)
グラフ（速度とエンジン回転数）	車速（横軸）とエンジン回転数（縦軸）の関係をグラフで表示します。グラフ内ドットの表示間隔は、車種によって異なります。
エンジン負荷	エンジン負荷を、ピストン部分の赤色の濃淡で表します。エンジン負荷が大きくなると、赤色が濃くなっていきます。
OBDデータ	OBDデータを一覧表示します。

・初期値は、「マルチメーター」に設定されています。
・時刻は、GPS測位により自動的に設定され、時刻合わせの操作は不要です。（測位状況により時刻が合わないことがあります。）
・時刻の表示は、24時間表示です。
・OBD II アダプター (OBD12-RP) で接続して走行し、シガープラグコードまたは別売品のUSB電源直結コード (OP-E601) に接続を変更した場合、その間は燃費関係数値の計算は行われません。
・走行速度はGPSの電波に基づき表示しています。別売品のOBD II アダプター (OBD12-RP) で接続した場合は、OBD II 車速検知に基づき表示しています。
また、車両の速度計は、数値が高く表示される（プラス誤差）傾向があります。

マルチメーターに表示させるメーターの選択について

初期設定では、マルチメーターには「瞬間燃費」、「全道路平均燃費」、「トリップメーター」が表示されています。
これを左図の 12 種類のメーターの中から選択し、表示を変更することができます。
「瞬間燃費」、「今回燃費」、「全道路平均燃費」、「一般道平均燃費」、「高速道平均燃費」、「冷却水温度計」のメーターは、上段にアナログ表示、下段にデジタル表示が連動して表示されます。

トリップメーターは、数値をリセットした時点からの区間距離と区間燃費を表示します。リセットする場合は、[RESET] を押してください。
※[RESET]ボタンを押すと、元には戻せませんのでご注意ください。

1 メイン画面にタッチし、メインメニュー画面を表示させます

- メイン画面を「OBD II 情報」の「マルチメーター表示」としている場合の例です。
- 画面は初期設定画面です。

2 [画面設定]にタッチします

3 [画面選択]にタッチします

4 [OBD II 情報]にタッチします

- [OBD II 情報]にタッチしたときだけ、[詳細]が表示されます。

5 [詳細]にタッチします

6 現在のマルチメーターに表示されている 3 種類のメーターの位置で並んでいるので、変更したいメーターにタッチします

7 [メーター項目選択]画面で設定したい(変更後の)メーターにタッチします

8 [メイン画面]にタッチします

- [メイン画面]にタッチしないと、変更が確定しません。
- 「トリップメーター」が「今回燃費」に変更されました。

警報中の画面表示

[MAP画面]を表示している場合

フルマップ 3D 表示では、GPS ターゲットに近づくとアイコンが段階的に拡大され、画面右下にターゲット名称と距離が表示されます。
フルマップ 2D 表示では、GPS ターゲットに近づくとズームアップされます。

＜フルマップ 3D 表示＞

さらに接近すると、「アニメーション警報」、「オービス実写警報 (REALPHOTO)」または「キャラクター警報」の中から設定された画面が表示されます。警報表示を OFF にし、文字と音声だけにすることもできます(☛31 ページ)

＜アニメーション警報＞　＜オービス実写（REALPHOTO）警報＞

＜キャラクター警報＞

●オービス実写警報「REALPHOTO（リアルフォト）」

本機には各オービスの登録地点の実写画像(オービス写真データ)が登録されています。
オービス (ループコイル / LH システム / H システム / レーダー式オービス) の約 500m 手前で実際のオービス写真を表示します。また、オービスの位置を、矢印でわかりやすく表示します。

※ [MAP画面]を表示している場合のみ適用されます。[レーダー待受]、[OBD II 情報]の表示の時は表示されません。
※ 写真のデータが登録されていないオービスポイントでは、オービス写真が表示されません。
※ 写真は撮影時のものです。現状と異なる場合があります。

[レーダー待受]の時刻・スピード表示に設定した場合の表示例

各表示エリアに GPS ターゲット名、レーダー波 3 識別(レーダー、ステルス、キャンセル)、無線名の表示、受信レベルとターゲットまでの距離が表示されます。

<レーダー待受・OBD II 情報に設定した場合の表示例>

[レーダー待受]のマップスコープ表示に設定した場合の表示例

警報表示エリアに GPS ターゲット名、レーダー波 3 識別(レーダー、ステルス、キャンセル)、無線名の表示とターゲットまでの距離が表示されます。

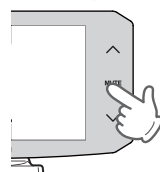
<マップスコープに設定した場合の表示例>

警報音のミュート

レーダー波を受信中(レーダー警報中)、各画面にミュートボタンが表示されます。タッチすると警報音をミュート(消音)することができ、受信中のレーダー波がなくなるまで、警告音を一時的に鳴らなくすることができます。もう一度タッチするとミュートは解除されます。
本機右側のミュート [MUTE] ボタンをタッチすると本機のすべての音をミュート(消音)することができます。再度、音を鳴らす時は、もう一度ミュート [MUTE] ボタンをタッチします。

ミュートアイコン

警報音あり　警報音なし

MUTE ボタン

警報画面の変更

警報画面が表示された際の画面を「アニメ」、「キャラクター」、または「実写」の中から変更できます。([MAP 画面] を表示している場合のみ適用。[レーダー待受]、[OBD II 情報] の表示の時は表示されません。)

[選択可能な警報画面]

<アニメーション(アニメ)>

<キャラクター>

<実写 (REALPHOTO)>

[操作手順 1] 通常の警報画面変更操作です。

メイン画面にタッチ

[画面設定] にタッチ

[警報表示] にタッチ

<警報表示設定画面>

選択できるのは 1 種類です。点灯が ON です。すべてを消灯させると OFF になります。OFF にすると文字と音声(警報音)での警報になります。
(☛ 77 ページ)

<警報表示設定画面>

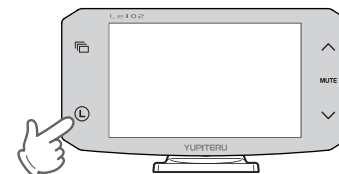
[メイン画面] にタッチします。
※[メイン画面] にタッチしないと、変更が確定しません。

<メイン画面>

画面が変更されました。

[操作手順 2] 「キャラクター」表示時にワンタッチで画面を切り替えます。

「レイボタン」をタッチすると、「キャラクター」表示(レイモード)をワンタッチで他画面(通常警報モード)に切り替えることができます。再び「キャラクター」表示にもどすには、「レイボタン」をタッチします。

「キャラクター」⟷「他画面」

「レイボタン」

画面の輝度（明るさ）調整

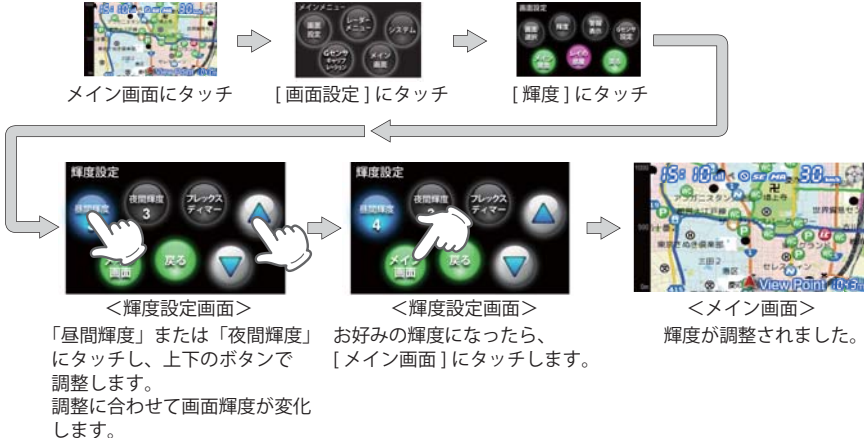
昼間と夜間の画面の輝度（明るさ）を個別に調整できます。昼間輝度と夜間輝度の切り替えは本機が自動で行い、任意に変更することはできません。

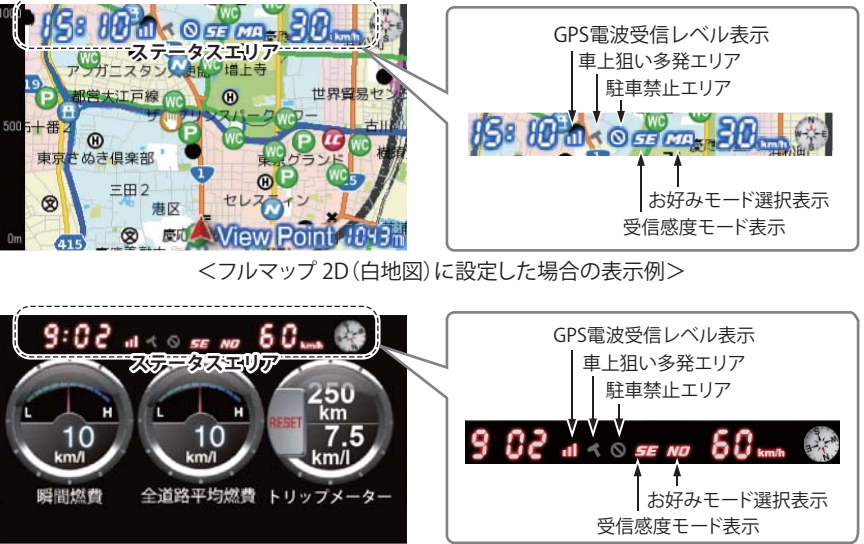
［操作手順］

メイン画面にタッチ → ［画面設定］にタッチ → ［輝度］にタッチ

＜輝度設定画面＞
「昼間輝度」または「夜間輝度」にタッチし、上下のボタンで調整します。
調整に合わせて画面輝度が変化します。

＜輝度設定画面＞
お好みの輝度になったら、［メイン画面］にタッチします。

＜メイン画面＞
輝度が調整されました。

・輝度の調整は「0」～「5」の 6 段階で行うことができます。

ステータスエリアのアイコン表示について

＜フルマップ 2D（白地図）に設定した場合の表示例＞

＜OBD画面(マルチメーター)に設定した場合の表示例＞

＜フルマップ 2D（白地図）＞
＜フルマップ 3D（白地図）＞　に設定した場合のアイコン
＜サイバーマップ（2D）＞

表示名	アイコン	内容
車上狙い多発エリア	（表示）、（非表示）	車上狙い多発エリア内に進入した時点で非表示から表示に変わります。
駐車禁止エリア	（表示）、（非表示）	駐禁最重点（重点）エリア内に進入した時点で非表示から表示に変わります。
受信感度モード表示	–、C、E、SE	AACのON/OFFおよびレーダー受信感度を表示します。（☛56ページ）
お好みモード選択表示 （MI：ミニマム、NO：ノーマル、SP：スペシャル、A：オールON、MA：マニュアル）	MI、NO、SP、A、MA	設定されているモードを表示します。（☛51ページ）
GPS電波受信レベル表示	、、 （非測位時）	GPS電波の受信レベルを表示します。

＜フルマップ 2D（黒地図）＞
＜フルマップ 3D（黒地図）＞
＜［レーダー待受］＞　に設定した場合のアイコン
＜［OBD II 情報］＞

表示名	アイコン	内容
車上狙い多発エリア	（表示）、（非表示）	車上狙い多発エリア内に進入した時点で非表示から表示に変わります。
駐車禁止エリア	（表示）、（非表示）	駐禁最重点（重点）エリア内に進入した時点で非表示から表示に変わります。
受信感度モード表示	–、C、E、SE	AACのON/OFFおよびレーダー受信感度を表示します。（☛56ページ）
お好みモード選択表示 （MI：ミニマム、NO：ノーマル、SP：スペシャル、A：オール ON、MA：マニュアル）	MI、NO、SP、A、MA	設定されているモードを表示します。（☛51ページ）
GPS電波受信レベル表示	、、 （非測位時）	GPS電波の受信レベルを表示します。

Gセンサの設定

キャラクター表示時、「発進、停止、右折、左折」時の G センサ設定を行います。

[操作手順]

メイン画面をタッチ

[画面設定] をタッチ

[G センサ設定] をタッチ

<G センサ設定画面>

(転びやすい)　(転びにくい)
それぞれの項目で、数値を
調整します。
車両に応じて適度な感度に
調整してください。

調整が終わったら「メイン画面」を
タッチします。
設定を完了し、メイン画面に戻ります。
※設定値は一例です。

ステータスバーについて

[MAP 画面] のキャラクター表示時に、画面左側にステータスバーが表示されます。
G センサ設定(我慢レベル高〜低)や、本機の接続方法、走行状況などによって増減します。
ステータスバーの最大値・最小値も G センサ設定、接続方法、走行状況によって変化します。

地図スケールを変更する

地図スケール(縮尺)を変更することができます。

1 メイン画面内の左図のエリアをタッチして、地図スケール変更ボタンを表示させます

2 地図スケール変更ボタンにタッチし、地図スケールを変更する

- 地図スケールは、100m、250m、500m、1,000m、2,000m の5段階です。
- 3秒間操作しないと、自動的にメイン画面に戻ります。

地図スケール変更ボタンを表示させるタッチエリアは下記画面のみにあります。

フルマップ 2D(白地図)

フルマップ 3D(白地図)

フルマップ 2D(黒地図)

フルマップ 3D(黒地図)

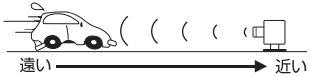
サイバーマップ 2D

マップスコープ

レーダー波受信時の動作について(レーダーアラーム)

本機は、W アラームと接近テンポアップの採用により、取締りレーダー波の存在をより確実に伝えていきます。[レーダーアラーム]

Wアラーム

音(電子音 / ボイス)と表示のダブルで警報します。

後方受信

iDSPによる超高精度識別およびスーパーエクストラの超高感度受信により、後方からの取締りレーダー波もしっかり受信します。

オートクワイアット

レーダー波受信の警報音を電子音に選択のときは、レーダー波の受信が約 30 秒以上続くと、自動的に音量を小さくします。

接近テンポアップ

取締りレーダー波発信源への接近(電波の強弱)に合わせて変化します。

※ ボイスはテンポアップしません。

取締りレーダー波発信源との距離	遠い ――→ 近い
電子音	『ピロ・ピロ』――→『ピーーーー』 断続音から連続音に変化します。
表示	レーダー波の受信レベルが変化します。 レーダー波の受信レベル

レーダー波3識別(iDSP)について

本機は、iDSP/統合的デジタル信号処理技術(integrated Digital Signal ProcessingTechnology)により、ステルス型取締り機の「一瞬で強い電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常波と区別して警報画面とボイスでお知らせします。さらに、アイキャンセル(インテリジェントキャンセル)(☛55ページ)により取締り波かどうかを識別し、誤警報を抑えます。

[ステルス識別]
[アイキャンセル:特許 第3902553号、第4163158号]

- iDSPはステルス型の取締り機に対して完全対応という訳ではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。

※ 新 H システムの断続的なレーダー波を受信した際も、通常のレーダー波と同じ警報となります。

ボイス識別

ステルス型取締り機について

他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に探知(受信)されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要なときに短時間強い電波を発射して速度の測定ができる狙い撃ち方式の取締り機です。

- ステルス型取締り機は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間にあわない場合があります。また、取締りには電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- 通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ステルス波を識別警報することがあります。
- ステルス型取締り機の電波を受信するとボイスでステルス波を識別警報します。
- ステルス波を受信すると画面右下に「ステルス」と表示され、『ステルスです』とボイスでお知らせします。『ステルスです』とお知らせした後は、『スピード注意』のボイスまたは電子音でお知らせします。

GPS測位機能について

GPS（Global Positioning System）とは、衛星軌道上の人工衛星から発信される電波により、緯度・経度を測定するシステムです。
カーナビでお馴染みのこのシステムを利用して、取締りレーダー波を発射しないループコイル、LHシステムのオービス（無人式自動速度取締り装置）にも警報します。
また、固定設置式のオービスだけでなく、交通監視システムやNシステム、そして、過去に取締りや検問が行われていた場所など、51種類のターゲットを識別してお知らせします。［**GPS51識別**］

Gセンサー＆ジャイロセンサー

Gセンサーで、自車の加減速の変化を計測します。ジャイロセンサーで、自車の進行方向の変化を計測します。

OBD Ⅱ車速検知 ※別売品(OBD Ⅱアダプター(OBD12-RP))で接続

GPS電波を受信できないトンネル内でも、正確な車速情報を得ることができます。

マップマッチングシステム

GPS・Gセンサー・ジャイロセンサーで、自車の進行状態を検知。全国地図と照合し、ルートのずれを補正します。
※トンネル内のマップマッチングシステムは、全国の高速道路および国道のトンネルではたらきます。

<マップマッチングシステム>、<Gセンサー＆ジャイロセンサー>、別売品のOBD Ⅱアダプター (OBD12-RP) を接続することによる＜OBD Ⅱ車速度検知＞により、GPS電波の受信状態が良くない場所でも、高精度な警報を行うことが可能です。
※一部のトンネル内では、自車位置表示が道路上で止まることがありますが、再びトンネルを出てGPSを受信すると復活します。

GPS測位機能は、本機の電源をONにするとはたらきます。

測位アナウンスについて

- GPSの電波を受信（測位）すると、『GPSを受信しました』とお知らせします。約5分経過しても測位できないときは、『GPSをサーチ中です』とお知らせします。
- 測位したあとでも、GPSの電波を受信できない状態が約1分以上続くと、『GPSを受信できません』と非測位のお知らせをします。非測位のお知らせをしたあとに、再び測位すると『GPSを受信しました』とお知らせします。
- ビルの谷間など、GPSの電波の受信状態が良くない場合、『GPSを受信できません』『GPSを受信しました』と測位アナウンスをくり返すことがあります。
- 測位アナウンスは、「OFF」に設定することができます。(☛70ページ)

通常、測位するまで、約15秒から約3分ほどかかりますが、購入直後や、ビルの谷間など、視界の悪い場所では、GPSの電波を受信しにくく、測位に20分以上時間がかかる場合があります。障害物や遮へい物のない視界の良い場所へ移動し、車を停車して行ってください。

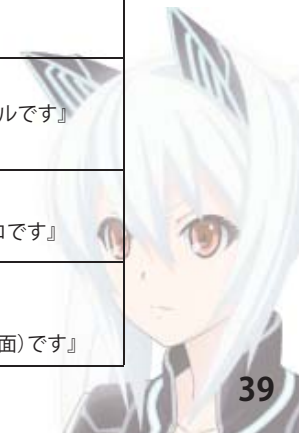
※本機には、バッテリー（バックアップ電池）が内蔵されていますが、ご使用開始からの数日間や受信状況が悪い場合、GPS測位に時間がかかる場合があります。

警報ボイスについて

つづく

内蔵メモリーに登録されているGPSデータのポイント（GPSターゲット）に近づくと、オービスなどのターゲットを51種類に識別してお知らせします。
※ 警報語句は、実際と異なったり、変更になる場合があります。

⚠注意：レイモードでの警報は以下の語句ではありません。ご注意ください。

ターゲット	警報語句
1 ループコイル	『500m先 ループコイルです』
2 LHシステム	『500m先 LHシステムです』
3 新Hシステム	『500m先 Hシステムです』
4 レーダー式オービス	『500m先 レーダーです』
5 トンネル内オービス	『1km先 トンネル内高速道LHシステムです』
6 トンネル内追尾式取締エリア	『1km先 トンネル内 高速道 レベル3 追尾式取締エリアです』
7 トンネル出口直後ネズミ捕りエリア	『1km先 トンネル出てすぐ 高速道 レベル3 ネズミ捕りエリアです』
8 トンネル出口ターゲット	『トンネルの出口付近 高速道レーダーです』
9 オービス制限速度	『1km先 高速道ループコイルです』 『制限速度は100キロです』
10 高速道制限速度切り替りポイント	『高速道制限速度は100キロです』
11 カメラ位置告知	『500m先 LHシステムです カメラは右側（左側）、（正面）です』

ターゲット	警報語句
12 ネズミ捕りエリア	『1km先 レベル4 ネズミ捕りエリアです』
13 移動オービスエリア	『1km先 レベル5 移動オービスエリアです』
14 追尾式取締エリア	『1km先 レベル3 追尾式取締エリアです』
15 一時停止取締エリア	『1km先 レベル2 一時停止取締エリアです』
16 交差点取締エリア	『1km先 レベル1 交差点取締エリアです』
17 その他取締エリア	『1km先 レベル1 取締エリアです』
18 シートベルト検問エリア	『1km先 レベル5 シートベルト検問エリアです』
19 飲酒検問エリア	『1km先 レベル4 飲酒検問エリアです』
20 携帯電話検問エリア	『1km先 レベル3 携帯電話検問エリアです』
21 その他検問エリア	『1km先 レベル2 検問エリアです』
22 取締・検問圏外識別	『取締エリア外です』 『検問エリア外です』

ターゲット	警報語句
23 高速道 交通警察隊	『500m先 高速道 交通警察隊 待機所です』
24 駐禁最重点エリア	『この付近 駐禁最重点エリアです』
25 駐禁重点エリア	『この付近 駐禁重点エリアです』
26 Nシステム	『すぐ先 Nシステムです』
27 交通監視システム	『すぐ先 交通監視システムです』
28 交差点監視ポイント	『すぐ先 交差点監視ポイントです』
29 信号無視抑止システム	『すぐ先 信号無視抑止システムです』
30 警察署	『500m先 警察署です』
31 事故多発エリア	『すぐ先 事故多発エリアです』
32 車上狙い多発エリア	『この付近 車上狙い多発エリアです』
33 高速道 急/連続カーブ	『この先 高速道 急／連続カーブです』
34 高速道 分岐/合流ポイント	『この先 高速道 分岐／合流ポイントです』

つづく

ターゲット	警報語句
35 ETCレーン事前案内	『ETCレーンは（右側／左側／両サイド／中央）です』
36 サービスエリア	『1km先 高速道サービスエリアです』
37 パーキングエリア	『1km先 高速道パーキングエリアです』
38 ハイウェイオアシス	『1km先 高速道ハイウェイオアシスです』
39 スマートインターチェンジ	『1km先 高速道パーキングエリアです スマートインターチェンジです』
40 SA/PA内ガスステーション	『1km先 高速道パーキングエリアです ガスステーションがあります』
41 高速道 長/連続トンネル	『500m先 高速道 長い／連続トンネルです』
42 ハイウェイラジオ受信エリア	『高速道 ハイウェイラジオ受信エリアです』
43 県境告知	『この先 〇〇県です』
44 道の駅	『500m先 道の駅です』
45 ビューポイントパーキング	『500m先 ビューポイントパーキングです』

ターゲット	警報語句
46 駐禁エリア付近駐車場	●警報語句のお知らせはありません。（サイレント警報※）
47 踏切	●警報語句のお知らせはありません。（サイレント警報※）
48 一時停止ポイント	●警報語句のお知らせはありません。（サイレント警報※）
49 公衆トイレ	●警報語句のお知らせはありません。（サイレント警報※）
50 交番	●警報語句のお知らせはありません。（サイレント警報※）
51 消防署	●警報語句のお知らせはありません。（サイレント警報※）

• 警報音（ボイス）は、♪効果音のあとにお知らせします。

※注意度の低いターゲットを、アイコンのみで表示し、不要な警報音（ボイス）で運転の妨げをせず、重要な警告を逃しません。

●トンネル出口ターゲット警報

トンネルの出口付近に設置されているターゲット（オービスなど）に対し、トンネル入口の手前約500mと直前の２カ所（※）で警報します。

※ GPSの受信状況やGセンサー/ジャイロセンサーおよびOBD II車速検知（別売品のOBD IIアダプター（OBD12-RP）で接続した場合）の動作状況、または地理的な状況によっては、１カ所のみの警報になります。

●トンネル内の警報・警告

本機は、Gセンサー、ジャイロセンサーおよびマップマッチングシステムにより、GPSの電波を受信できないトンネル内のオービスや取締エリアをお知らせします。
さらに別売品のOBD IIアダプター（OBD12-RP）で接続した場合は、OBD II車速検知により高精度な警報を行います。

- **トンネル内オービス5段階警報**
  トンネル内のオービスから約2km（高速道のみ）／1km／500m手前と通過直前/通過時の最大5段階でお知らせします。
- **トンネル内追尾式取締エリア警告**
  トンネル内の追尾式取締エリア登録ポイントから約1km手前とエリアに入ったとき、エリア圏外になったときにお知らせします。
- **トンネル出口直後ネズミ捕りエリア警告**
  トンネル出口直後のネズミ捕りエリア登録ポイントから約1km手前とエリアに入ったとき、エリア圏外になったときにお知らせします。

●高速道識別ボイス

ターゲットが高速道に設置されている場合、『高速道』とボイスでお知らせします。

●左右方向識別ボイス

GPS警報は、ターゲットが進行方向に対して、右手または左手方向に約25°以上のとき、その方向をお知らせします。

- 『右方向』、『左方向』のボイスは、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。

※以下のターゲットは、左右方向識別ボイスのお知らせはありません。

- トンネル内オービス
- トンネル出口ターゲット
- オービス制限速度
- 高速道制限速度切り替りポイント
- カメラ位置告知
- トンネル内追尾式取締エリア
- トンネル出口直後ネズミ捕りエリア
- 一時停止取締エリア
- 取締・検問圏外識別
- 駐禁最重点エリア
- 駐禁重点エリア
- 一時停止注意ポイント
- 交番
- 車上狙い多発エリア
- 高速道 分岐/合流ポイント
- 踏切
- ETCレーン事前案内
- スマートインターチェンジ
- SA/PA内ガスステーション
- ハイウェイラジオ受信エリア
- 県境告知
- 駐車場
- 消防署
- 公衆トイレ

17バンド受信機能について

つづく

取締りレーダー波のX・Kツインバンドと GPSの３バンドの他に、無線14バンド受信をプラスし、17バンド受信ができます。

1. 無線14バンド受信機能について

安心して、安全に運転していただくために、無線14バンド受信機能を搭載しました。
これらの無線を受信すると、画面表示とボイスのダブルでお知らせします。［**無線14バンド識別**］

⚠注意：レイモードでの警報は以下の語句ではありません。ご注意ください。

<各種無線を受信すると…>

・警報語句は、実際と異なったり、変更になる場合があります。

受信バンド	警報語句
1 カーロケ無線	『カーロケ近接受信です』 『カーロケ遠方受信です』
2 取締無線	『取締無線です』
3 デジタル無線	『デジタル無線です』
4 取締特小無線	『特小無線です』
5 署活系無線	『署活系無線です』
6 W.I.D.E／警察電話	『警察電話です』
7 警察活動無線	『警察活動無線です』
8 レッカー無線	『レッカー無線です』
9 ヘリテレ無線	『ヘリテレ無線です』
10 消防ヘリテレ無線	『消防ヘリテレ無線です』
11 消防無線	『消防無線です』

受信バンド	警報語句
12 新救急無線	『救急無線です』
13 高速道路無線	『高速道路無線です』
14 警備無線	『警備無線です』

2. ベストパートナー6識別

カーロケ無線、取締無線、デジタル無線などの無線の受信状態からシミュレーションし、快適ドライブのベストパートナーとして、安全走行のためのタイムリーな情報をお知らせします。
また、カーロケ無線（407.7MHz 帯の電波）を受信したとき、その発信元の遠近を自動識別し、さらに発信元が圏外になったと思われる場合もお知らせします。

［検問注意：特許第 4119855 号］
［並走追尾注意／すれ違い／圏外識別：特許第 3780262 号］

・カーロケ無線やベストパートナー 6 識別は、カーロケ無線が受信可能な一部地域のみ働きます。

● 「カーロケ無線」、「取締無線」、「デジタル無線」の設定（☛ 72 ～ 73 ページ）をすべて「ON」にする

・カーロケ無線やベストパートナー 6 識別は、カーロケ無線が受信可能な一部地域のみ働きます。

種々の無線を受信すると・・・

・警報語句は、実際と異なったり、変更になる場合があります。

⚠注意：レイモードでの警報は以下の語句ではありません。ご注意ください。

識別項目	注意内容	警報語句
1 並走追尾注意	緊急車両が近くにいる可能性が高いとき	『スピード注意』
2 すれ違い注意	近くにいたと思われる緊急車両などが、遠ざかった可能性が高いとき	『遠ざかりました』

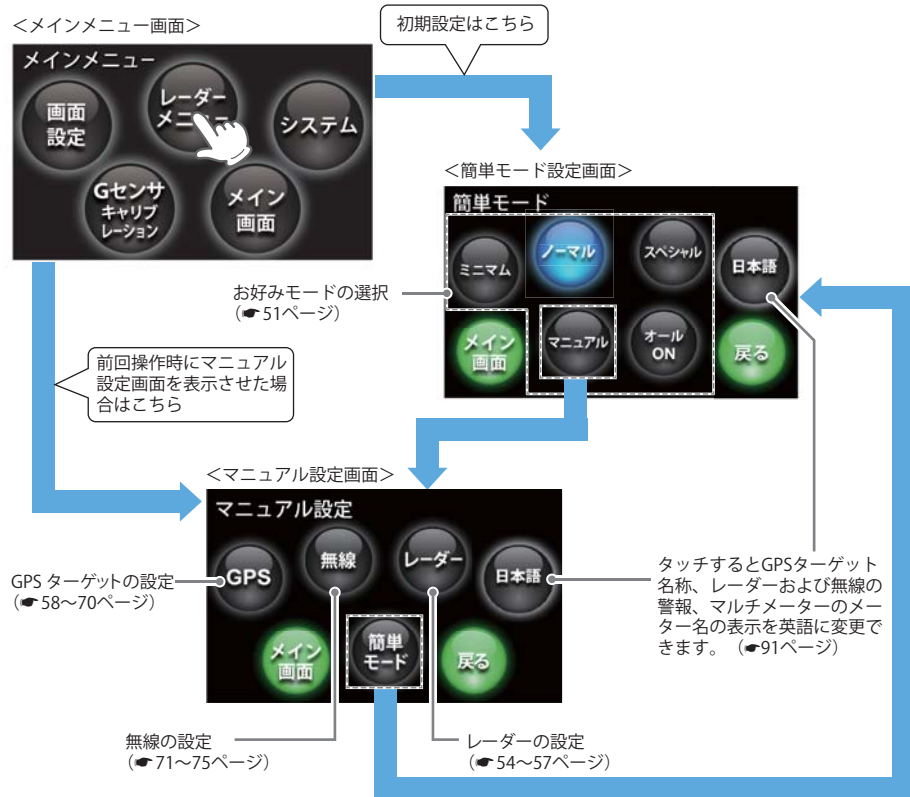
識別項目	注意内容	警報語句
3 取締シグナル	比較的近くで取締りなどが行われている可能性が高いとき	『取締注意』
4 検問シグナル	比較的近くで検問などが行われている可能性が高いとき	『検問注意』
5 カーロケ遠近識別	緊急車両などが遠方のときや近接している可能性が高いとき	『カーロケ遠方受信です』
		『カーロケ近接受信です』
6 カーロケ圏内・圏外識別	カーロケ受信の発信元が、まだ近くにいる場合や遠ざかった可能性が高いとき	※カーロケ圏内中は、警報語句のお知らせはありません。
		『カーロケ圏外です』

・警報によるアドバイスがあっても、実際とは異なる場合がありますので、目安としてお考えください。
・カーロケーターシステムは､全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在は受信可能な地域であっても今後、新システムへの移行により受信できなくなりますので、あらかじめご了承ください。新システムが導入された地域や、新システムに移行した場合、カーロケ無線の警報や、ベストパートナー 6 識別は働きません。

レーダーメニューの画面を表示させる

レーダーメニューの画面で、レーダーメニューの設定内容（お好みモード選択機能やレーダー・GPSターゲット・無線の設定内容）を変更（☛ 51 ～ 75 ページ）できます。

1 メイン画面にタッチし、メインメニュー画面を表示させます

・メインメニュー画面が表示されます。

・［メイン画面］にタッチすると、メイン画面に戻ります。
・［日本語］にタッチすると、GPS ターゲット名称、レーダーおよび無線の警報、マルチメーターのメーター名が英語表記に変わります。日本語表記に戻りたいときは、［英語］にタッチします。91 ページに英語と日本語の対照表を記載しています。
・［戻る］にタッチすると、メインメニュー画面に戻ります。

レーダーメニューの設定内容を変更する つづく

例 1 >> お好みモード選択機能（☛ 51 ページ）を、簡単モードのオール ON で使用したいときは…

1 メイン画面にタッチし、メインメニュー画面を表示させます

・メインメニュー画面が表示されます。

2 ［レーダーメニュー］にタッチします

・簡単モード設定画面が表示されます。
・マニュアル設定で使用していた場合は、［簡単モード］をタッチします。

3 ［オールON］にタッチします

4 ［メイン画面］にタッチします

・［メイン画面］にタッチすると、メイン画面に戻ります。
・［戻る］にタッチすると、マニュアル設定画面に戻ります。

例2>> お好みモード選択機能(☛ 51 ページ)で取締エリア Lv1(☛ 60 ページ)のみを OFF に設定変更したいときは…(マニュアルモード選択時のみ変更できます)

1 メイン画面にタッチし、メインメニュー画面を表示させせます

・メインメニュー画面が表示されます。

2 [レーダーメニュー]にタッチします

・マニュアル設定画面が表示されます。

3 [マニュアル]にタッチします

・マニュアル設定画面が表示されます。

4 [GPS]にタッチします

・GPS 設定画面が表示されます。

5 [ターゲット]にタッチします

・ターゲット設定画面が表示されます。

6 [▶]にタッチする

<ターゲット設定の画面>

7 [取締エリア Lv1]にタッチします

<取締エリアLv1がONに設定されているときの画面>
(ボタンが青色点灯)

[取締エリアLv1]にタッチ

<取締エリアLv1がOFFに設定されているときの画面>
(ボタンが消灯)

8 [メイン画面]にタッチします

・[メイン画面]にタッチしないと、変更が確定しません。

お好みモード選択機能の設定

つづく

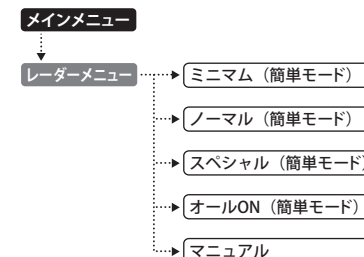
フローチャートにそって、お好みモード選択機能の設定変更ができます。
・詳しい操作方法は「レーダーメニューの設定内容を変更する」(☛ 49 ページ)をご覧ください。

お好みモード選択機能

レーダー、GPS、無線の各機能があらかじめ個別設定されている 4 つの簡単モード(ミニマム、スペシャル、ノーマル、オール ON)ならびに、すべての機能を個別に手動設定できるマニュアルモードがあります。

・初期値は、簡単モードの「ノーマル」に設定されています。
・各モードの設定値は、「レーダーメニュー設定の初期値一覧」(☛ 52 ページ)をご覧ください。

お好みモード選択機能の設定フローチャート

本機はタッチパネルです。お好みモード選択機能の設定変更の際は、それぞれの項目(画面)にタッチしていきます。

お好みモード選択機能設定の詳細説明

※ 各モードの設定値は「レーダーメニュー設定の初期値一覧」(☛ 52 ページ)を参照ください。

〈ミニマム:MI〉

レーダー、無線、GPS すべてにおいて、最低限の項目だけ ON に設定されています。
・設定内容は変更できません。

〈スペシャル:SP〉

取締りに関係する項目を重視した内容に設定されています。
・設定内容は変更できません。

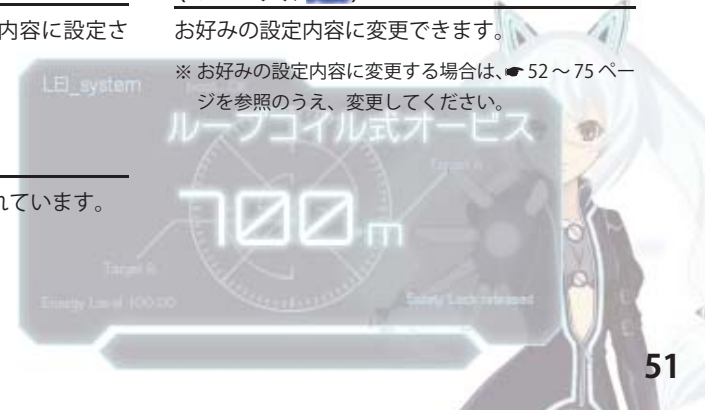
〈ノーマル:NO〉

バランスを重視した内容に設定されています。
・設定内容は変更できません。

〈オール ON:A〉

レーダーメニューの設定がすべてオン状態になります。
・設定内容は変更できません。

〈マニュアル MA〉

お好みの設定内容に変更できます。
※ お好みの設定内容に変更する場合は、☛ 52 ～ 75 ページを参照のうえ、変更してください。

レーダーメニュー設定の初期値一覧

●レーダーの設定

		簡単モード				マニュアル	詳細説明ページ
		ミニマム	ノーマル	スペシャル	オールON		
		以下の内容で設定されており、変更はできません。				設定内容を変更できます。	
機能	レーダー	ON	ON	ON	ON	ON	55
	ステルス	ON	ON	ON	ON	ON	55
	反対キャンセル	ON	ON	OFF	ON	ON	55
	Ｉキャンセル	ON	ON	OFF	ON	ON	55
	Ｉキャンセル音	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	56
感度		AAC/ASS	AAC/ASS	SE	AAC/ASS	AAC/ASS	56
電子音・ボイス選択		電子音	電子音	電子音	電子音	電子音	57

●GPSの設定

		簡単モード				マニュアル	詳細説明ページ
		ミニマム	ノーマル	スペシャル	オールON		
		以下の内容で設定されており、変更はできません。				設定内容を変更できます。	
ターゲット	オービス	ON	ON	ON	ON	ON	59
	直前速度告知	ON	ON	ON	ON	ON	59
	通過告知	ON	ON	ON	ON	ON	59
	制限速度告知	ON	ON	ON	ON	ON	60
	カメラ位置告知	ON	ON	ON	ON	ON	60
	取締エリア　Lv1～5	OFF	レベル3以上	全て	全て	レベル3以上	60
	検問　Lv1～5	OFF	レベル3以上	全て	全て	レベル3以上	62
	制限速度切替告知	ON	ON	ON	ON	ON	63
	速度超過告知	ON	ON	ON	ON	ON	63
	交差点監視ポイント	OFF	OFF	ON	ON	OFF	64
	信号無視抑止システム	OFF	OFF	ON	ON	OFF	64
	高速交通警察隊	OFF	ON	ON	ON	ON	64
	駐禁監視エリア	OFF	ON	ON	ON	ON	64
	一時停止注意ポイント	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	65
	Nシステム	OFF	OFF	ON	ON	ON	65
	交通監視システム	OFF	OFF	ON	ON	ON	65
	警察署	OFF	OFF	ON	ON	OFF	66
	交番	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	66
	事故多発エリア	OFF	OFF	ON	ON	OFF	66
	車上狙い多発エリア	OFF	OFF	ON	ON	OFF	66
	急カーブ	OFF	OFF	ON	ON	OFF	66
	分岐合流ポイント	OFF	OFF	ON	ON	OFF	67
	踏切	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	67
	ETCレーン	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	67
	サービスエリア	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	67
	パーキングエリア	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	67
	ハイウェイオアシス	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	68
	スマートIC	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	68
	ガソリンスタンド	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	68
	トンネル	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	68
	ハイウェイラジオ	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	69
	県境	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	69
	道の駅	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	69
	ビューポイントパーキング	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	69
	駐車場	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	69
	消防署	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	70
	公衆トイレ	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	70
道路識別		AUTO	AUTO	ALL	AUTO	AUTO	70
GPS測位音		ON	ON	ON	ON	ON	70

●無線の設定

		簡単モード				マニュアル	詳細説明ページ
		ミニマム	ノーマル	スペシャル	オールON		
		以下の内容で設定されており、変更はできません。				設定内容を変更できます。	
バンド	カーロケ	ON	ON	ON	ON	ON	72
	取締無線	ON	ON	ON	ON	ON	72
	デジタル	OFF	ON	ON	ON	ON	73
	特小無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	73
	署活系	OFF	OFF	ON	ON	OFF	73
	警察電話	OFF	OFF	ON	ON	OFF	73
	警察活動	OFF	OFF	ON	ON	OFF	73
	レッカー	OFF	OFF	ON	ON	OFF	74
	ヘリテレ	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	74
	消防ヘリテレ	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	74
	消防無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	74
	新救急無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	75
	高速道無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	75
	警備無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	75
感度		LO	LO	HI	HI	LO	75

レーダー・感度の設定

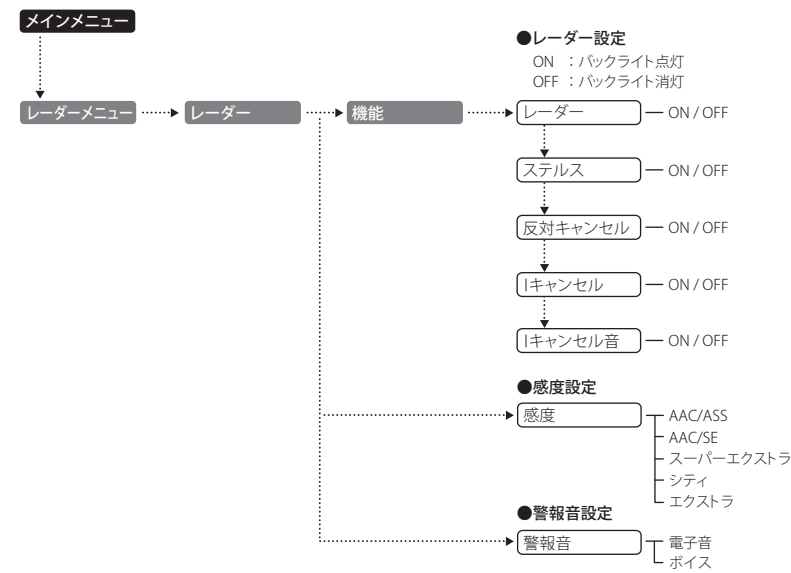
つづく

フローチャートにそって、レーダーの設定変更ができます。

・「お好みモード選択機能」(☛ 51 ページ)でマニュアルを選択した場合に設定内容が適応されます。

・詳しい操作方法は「レーダーメニューの設定内容を変更する」(☛ 49 ページ)をご覧ください。

レーダー・感度設定のフローチャート

本機はタッチパネルです。レーダーの設定変更の際は、それぞれ下記の項目(画面)にタッチしていきます。

レーダー・感度設定の詳細説明

〈レーダー〉

取締りレーダー波の電波を受信した際、警報音と画面表示を行います。

ON	レーダーの警報音と警報画面表示を行います。
OFF	レーダーの警報音と警報画面表示を行いません。

〈ステルス〉

ステルス型取締り機の電波を電波した際、警報音と画面表示を行います。

ON	ステルスの警報音と警報画面表示を行います。
OFF	ステルスの警報音と警報画面表示を行いません。

〈反対キャンセル〉(反対車線オービスキャンセル機能)

本機に登録されている GPS ターゲットデータの中で、レーダー式オービス・H システム式オービスポイントの反対車線における、レーダー受信警報をキャンセルする機能です。

ON	反対車線オービスキャンセル機能を使用します。
OFF	反対車線オービスキャンセル機能を使用しません。

〈アイ(Ｉ)キャンセル〉(インテリジェントキャンセル)[特許 第3902553号、第4163158号]

自動ドアなどで誤警報する場所を通過した際、GPS の位置情報を自動で登録し、2 回目以降通過時にレーダー波を受信した場合、レーダー警報をキャンセルします。
アイキャンセルの登録数は、10,000 カ所まで可能です。10,000 件を超えて登録しようとした場合、「登録は 10,000 件までです。消去してから登録してください」と表示され登録できません。

ON	Ｉキャンセル機能を使用します。
OFF	Ｉキャンセル機能を使用しません。

アイ(I)キャンセルのしくみ

① 取締りレーダー波と同じ電波を受信すると警報。[1回目]
② 取締りレーダー波かどうかを識別。
③ 誤警報と思われる場合、「誤警報エリア」として自動登録。(アイキャンセルの自動登録)
④ 同じ地点で電波を受信しても警報をキャンセル。[2回目以降]

・キャンセル中は、「Ｉキャンセル」の文字(ターゲット)が表示されます。

・GPS 測位していないときや誤警報エリアの状況によっては、誤警報がキャンセルされない場合があります。
・「I キャンセル」を「OFF」に設定すると、アイキャンセル機能を停止させることができます。
・自動登録した誤警報エリアは、本設定や電源を OFF にしても記憶されています。
・登録されたエリアをすべて消去したい場合は、「設定初期化」(☛79 ページ) を行ってください。

〈I キャンセル音〉

I キャンセル中、『I キャンセル中です…I キャンセル中です…』と 10 秒に 1 回ボイスでお知らせする機能です。

I キャンセル音 ON	I キャンセル中のお知らせを行います。
I キャンセル音 OFF	I キャンセル中のお知らせを行いません。

※「I キャンセル」(☛ 55 ページ) を OFF に設定すると、「I キャンセル音」も OFF に設定されます。

〈感度設定〉

レーダー波の受信感度を「シティ」、「エクストラ」、「スーパーエクストラ」、「AAC/ASS」、「AAC/SE」の中から選択できます。

・受信感度が高いほど遠くの電波を受信できますが、取締りレーダー波と同じ他の電波も受信してしまいます。走行環境や条件に合わせて、受信感度をお選びください。

選択項目	アイコン表示
シティ エクストラ スーパーエクストラ	C E SE
AAC/ASS	－（時速30km未満） C E SE（車速により変化）
AAC/SE	－（時速30km未満） SE（時速30km以上）

「シティ」・「エクストラ」・「スーパーエクストラ」

受信感度		走行環境や条件
高い ↑ 低い	スーパーエクストラ	高速道路
	エクストラ	郊外や高速道路
	シティ	市街地

「AAC/ASS」

GPS の速度検出機能（本機が別売品の OBD Ⅱアダプター (OBD12-RP) (☛10 ページ) で接続されている場合は、OBD Ⅱ車速検知）により、AAC/ 不要警報カットや ASS/ 最適感度選択の機能が働きます。

● **AAC/ 不要警報カット**

走行速度が時速 30km 未満は、レーダー波の受信警報をカットします。
停車中や低速走行中に自動ドアなどの電波を受信しても、誤警報しません。

● **ASS/ 最適感度選択**

走行速度に合わせて、最適な受信感度を自動的に選択します。

［AAC/ASS の動作］

走行速度	受信感度	アイコン表示	警報状態
0km～29km		－	警報しない
30km～39km	シティ	C	警報する
40km～79km	エクストラ	E	
80km～	SE（スーパーエクストラ）	SE	

・電源 ON 後、GPS 測位するまでの間は、SE（スーパーエクストラ）になります。
・走行中に GPS 測位ができなくなると、常に「警報する」状態になり、時間経過で SE（スーパーエクストラ）に変化します。（本機が別売品の OBD Ⅱアダプター (OBD12-RP) (☛10 ページ) で接続されている場合を除く。）

「AAC/SE」

走行速度が時速 30km 未満は、レーダー波の受信警報をカット（AAC）し、時速 30km 以上は、受信感度が SE（スーパーエクストラ）に固定されます。

［AAC/SE の動作］

走行速度	受信感度	アイコン表示	警報状態
0km～29km		－	警報しない
30km～	SE（スーパーエクストラ）	SE	警報する

・電源 ON 後、GPS 測位するまでの間は、SE（スーパーエクストラ）になります。
・GPS 測位できない状態では、走行速度に関係なく SE（スーパーエクストラ）に固定されます。（本機が別売品の OBD Ⅱアダプター (OBD12-RP) (☛10 ページ) で接続されている場合を除く。）

〈電子音〉

レーダー波受信の警報音を電子音に選択します。

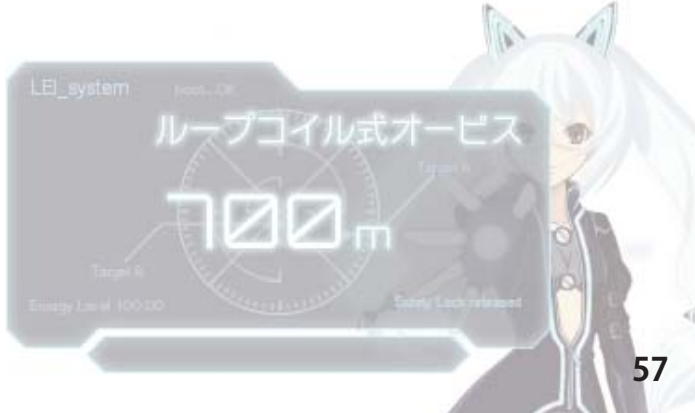
・『ピッピッピッ…』という電子音で警報します。

〈ボイス〉

レーダー波受信の警報音をボイスに選択します。

・♪効果音のあとに、『スピード注意』とボイスで警報します。

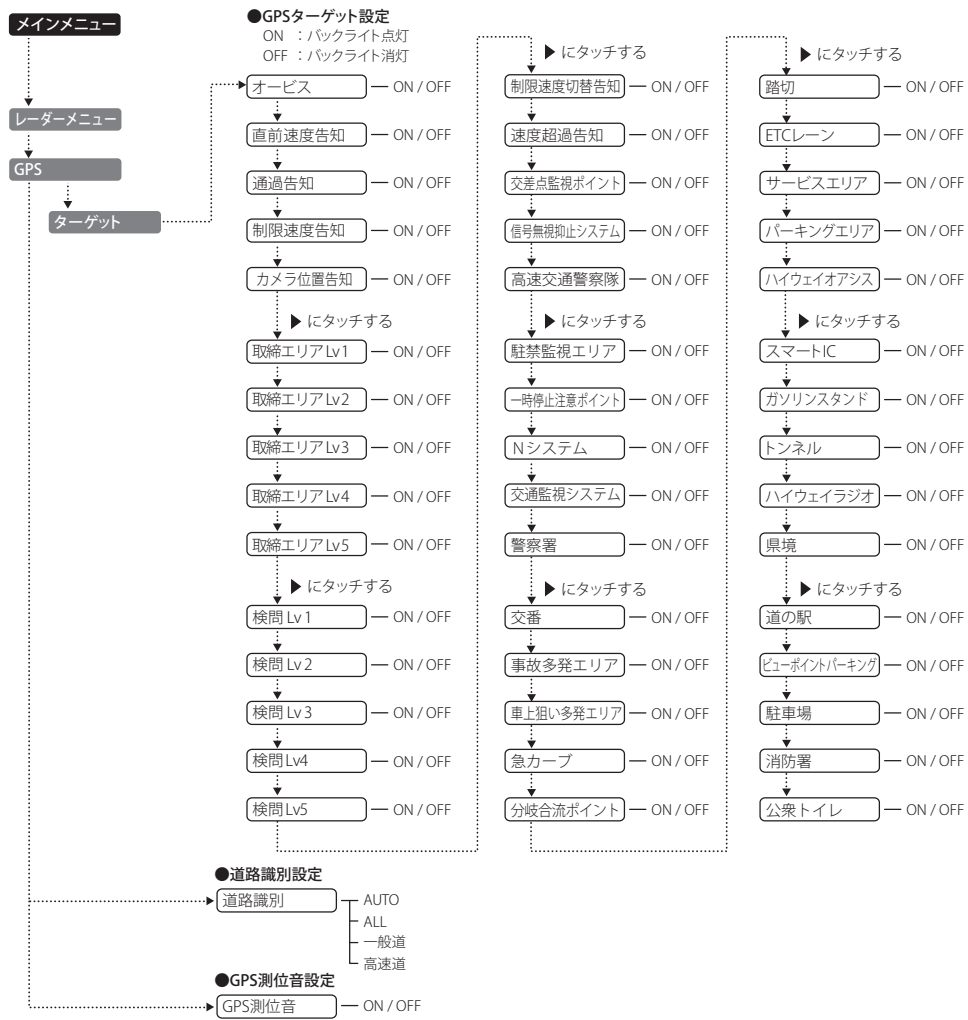
GPSターゲット・道路識別の設定

つづく

フローチャートにそって、GPS ターゲットの設定変更ができます。

・「お好みモード選択機能」(☛ 51 ページ) でマニュアルを選択した場合に設定内容が適応されます。

・詳しい操作方法は「レーダーメニューの設定内容を変更する」(☛ 49 ページ) をご覧ください。

GPS ターゲット・道路識別設定のフローチャート

本機はタッチパネルです。レーダーの設定変更の際は、それぞれ下記の項目 (画面) にタッチしていきます。

GPSターゲット・道路識別設定の詳細説明

〈オービス〉

オービス 5 段階警報の ON/OFF ができます。

オービス ON	オービス警報を行います。
オービス OFF	オービス警報を行いません。

オービス 5 段階警報とは？

オービス (ループコイル／ LH システム／新 H システム／レーダー式) の手前 2km (高速道のみ) ／ 1km ／ 500m と、通過直前 (通過速度告知) ／通過中 (通過告知) に行う警報のことです。

●警報音 (ボイス) によるお知らせ (例)

- **手前約2km** →『2km 先 高速道 LHシステムです』
- **手前約1km (500m)** →『1km (500m) 先 高速道 LHシステムです』
- **通過直前 (通過速度告知)** →『走行速度は 60キロ以下です』
- **通過中 (通過告知)** →『通過します』

※ 通過直前と通過時の警報をさせたい場合は、「通過速度告知」、「通過告知」の設定を ON にしてください。

・GPS の受信状況や G センサー / ジャイロセンサーの動作状況により、距離の告知 (『1km 先』、『500m 先』) を『この先』や『300m 先／ 200m 先／ 100m 先／すぐ先』とお知らせすることがあります。

・約 2km 手前の警報 (高速道のみ) は、走行路線の制限速度を超えて走行している場合にお知らせします。

・トンネル出口ターゲット (☛ 44 ページ) の警報は、オービス 5 段階警報とは異なります。

・通過直前 (通過速度告知) は、車の走行速度をお知らせするもので、道路の制限速度告知ではありません。

〈直前速度告知〉

「オービス直前速度告知」の ON/OFF ができます。

ON	直前速度告知を行います。
OFF	直前速度告知を行いません。

本設定が ON の場合、オービス通過時に走行している速度をボイスで告知します。

『走行速度は〇〇です』

※ 制限速度ではありません。

・上記〇〇の部分は『120 キロ以上／ 120 キロ以下／ 110 キロ以下／ 100 キロ以下／ 90 キロ以下／ 80 キロ以下／ 70 キロ以下／ 60 キロ以下／ 50 キロ以下／ 40 キロ以下／ 30 キロ以下』のいずれかになります。

・GPS の測位状況や GPS の電波を受信できない場所では、実際の速度と告知が異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。(本機が別売品の OBD II アダプター (☛10 ページ) で接続されている場合を除く。)

・トンネル出口ターゲットとトンネル内オービス (☛ 44 ページ) は、通過速度告知を行いません。

〈通過告知〉

通過告知の ON/OFF ができます。

通過告知 ON	通過告知を行います。
通過告知 OFF	通過告知を行いません。

本設定が ON の場合、オービスの撮影ポイントで『・・・通過します』と告知します。

・GPS の測位状況や GPS の電波を受信できない場所では、実際のオービスの直下ではなく、通過前や通過後に告知される場合があります。

・トンネル出口ターゲットとトンネル内オービス (☛ 44 ページ) は、通過告知を行いません。

〈制限速度告知〉

制限速度告知の ON/OFF ができます。

ON	制限速度告知を行います。
OFF	制限速度告知を行いません。

本設定が ON の場合、約 1km 手前のオービス警報や取締エリア内に入ったときの警報に続けて、道路の制限速度をお知らせします。
『1k m先 高速道ループコイルです（…レベル 1 取締エリアです）制限速度は○○です　スピード注意』

・上記の○○は『30 キロ／ 40 キロ／ 50 キロ／ 60 キロ／ 70 キロ／ 80 キロ／ 90 キロ／ 100 キロ／ 120 キロ』のいずれかになります。
・『スピード注意』のお知らせは、「制限速度超過告知」の設定を ON にし、制限速度を超えた走行時のみ告知します。
・普通自動車に対する制限速度をお知らせします。また、事故や天候、時間帯などによって変更する制限速度には対応しておりませんので、あらかじめご了承ください。状況に応じた規制速度で走行してください。
・トンネル出口ターゲット（☛44ページ）や制限速度が登録されていない取締エリアは、制限速度の告知を行いません。

〈カメラ位置告知〉

カメラ位置告知の ON/OFF ができます。

ON	カメラ位置告知を行います。
OFF	カメラ位置告知を行いません。

本設定が ON の場合、約 500m 手前のオービス警報に続いて、オービスのカメラ位置をお知らせします。
『500m 先…』『カメラは○○です』

・カメラの位置（上記の○○）は『右側』『左側』『正面』のいずれかになります。
・トンネル出口ターゲット（☛ 44 ページ）は、カメラ位置告知されません。

〈取締エリア Lv 1 ／ 2 ／ 3 ／ 4 ／ 5〉

取締エリアに進入した際、音と表示で警告します。

取締エリアについて

過去に取締りが行われていた場所が、6 種類（ネズミ捕りエリア、移動オービスエリア、追尾式取締エリア、一時停止取締エリア、交差点取締エリア、その他取締エリア）に分けて登録されています。
取締エリアの約 1km 手前とエリア内に入ったとき、エリア圏外になったときの 3 段階でお知らせします。また、取締りの頻度別（取締レベル 1、取締レベル 2、取締レベル 3、取締レベル 4、取締レベル 5）に設定ができます。

・取締エリアは、過去のデータに基づき登録されていますが、頻度などは目安としてお考えください。
・一時停止取締エリアの警告は、「エリア内に入ったとき」のみお知らせします。
・トンネル内追尾式取締エリアとトンネル出口直後ネズミ捕りエリアは、「エリア圏外」のお知らせを行いません。（☛44 ページ）

● 警報音（ボイス）によるお知らせ（例）

・約 1km 手前
『1km 先　高速道　レベル 1 取締エリアです』

・エリア内に入ったとき
『…レベル 1 取締エリアです スピード注意　…取締エリアです スピード注意』

・エリア圏外になったとき
『…取締エリア外です』

※ GPS 測位状況や走行ルートによって距離の告知（『1km 先』）を、『この先』とお知らせすることがあります。

● 設定項目

取締レベル 5 ON	レベル 5 の取締エリアに進入すると音と表示で警告します。
取締レベル 5 OFF	レベル 5 の取締エリアに進入しても警告しません。
取締レベル 4 ON	レベル 4 の取締エリアに進入すると音と表示で警告します。
取締レベル 4 OFF	レベル 4 の取締エリアに進入しても警告しません。
取締レベル 3 ON	レベル 3 の取締エリアに進入すると音と表示で警告します。
取締レベル 3 OFF	レベル 3 の取締エリアに進入しても警告しません。
取締レベル 2 ON	レベル 2 の取締エリアに進入すると音と表示で警告します。
取締レベル 2 OFF	レベル 2 の取締エリアに進入しても警告しません。
取締レベル 1 ON	レベル 1 の取締エリアに進入すると音と表示で警告します。
取締レベル 1 OFF	レベル 1 の取締エリアに進入しても警告しません。

● レベルについて

レベル 5	取締りを行う頻度が多い
レベル 4	↓
レベル 3	
レベル 2	
レベル 1	取締りを行う頻度が少ない

〈検問 Lv 1 ／ 2 ／ 3 ／ 4 ／ 5〉

検問エリアに進入した際、音と表示で警告します。

検問エリアについて

過去に検問が行われていた場所が、4 種類（シートベルト検問エリア、飲酒検問エリア、携帯電話検問エリア、その他の検問エリア）に分けて登録されています。
検問エリアの約 1km 手前とエリア内に入ったとき、エリア圏外になったときの 3 段階でお知らせします。また、検問の頻度別（検問レベル 1、検問レベル 2、検問レベル 3、検問レベル 4、検問レベル 5）に設定ができます。

・検問エリアは、過去のデータに基づき登録されていますが、頻度などは目安としてお考えください。

● 警報音（ボイス）によるお知らせ（例）

・**約 1km 手前**
『1km 先　高速道　レベル 1 検問エリアです』

・**エリア内に入ったとき**
『…レベル 1 検問エリアです スピード注意　…検問エリアです スピード注意』

・**エリア圏外になったとき**
『…検問エリア外です』

※ GPS 測位状況や走行ルートによって距離の告知（『1km 先』）を、『この先』とお知らせすることがあります。

● 設定項目

検問レベル 5 ON	レベル 5 の検問エリアに進入すると音と表示で警告します。
検問レベル 5 OFF	レベル 5 の検問エリアに進入しても警告しません。

検問レベル 4 ON	レベル 4 の検問エリアに進入すると音と表示で警告します。
検問レベル 4 OFF	レベル 4 の検問エリアに進入しても警告しません。

検問レベル 3 ON	レベル 3 の検問エリアに進入すると音と表示で警告します。
検問レベル 3 OFF	レベル 3 の検問エリアに進入しても警告しません。

検問レベル 2 ON	レベル 2 の検問エリアに進入すると音と表示で警告します。
検問レベル 2 OFF	レベル 2 の検問エリアに進入しても警告しません。

検問レベル 1 ON	レベル 1 の検問エリアに進入すると音と表示で警告します。
検問レベル 1 OFF	レベル 1 の検問エリアに進入しても警告しません。

● レベルについて

レベル 5	検問を行う頻度が多い
レベル 4	↓
レベル 3	
レベル 2	
レベル 1	検問を行う頻度が少ない

〈制限速度切替告知〉

制限速度切替告知の ON/OFF ができます。

ON	制限速度切替ポイントの警告を行います。
OFF	制限速度切替ポイントの警告を行いません。

本設定が ON の場合、高速道路における制限速度を高速道への進入ポイントやパーキングエリアなどの出口ポイント、高速道切り替りポイントでお知らせします。
『高速道制限速度は○○です』

・上記の○○は『40 キロ／ 50 キロ／ 60 キロ／ 70 キロ／ 80 キロ／ 90 キロ／ 100 キロ／ 120 キロ』のいずれかになります。
・普通自動車に対する制限速度をお知らせします。事故や天候、時間帯などによって変更する制限速度には対応しておりませんので、あらかじめご了承ください。状況に応じた規制速度で走行してください。

〈速度超過告知〉

制限速度超過告知の ON/OFF ができます。

ON	制限速度超過告知を行います。
OFF	制限速度超過告知を行いません。

本設定が ON の場合、制限速度告知、通過速度告知、制限速度切替告知時に制限速度を超えて走行している場合、各告知に続けて『スピード注意』とお知らせします。

・制限速度を 10km/h 以上超過している場合は『スピード注意』、制限速度を 30km/h 以上超過している場合は『速度超過です　スピード注意』とお知らせします。
・普通自動車の制限速度に対しての速度超過をお知らせします。また、事故や天候、時間帯などによって変更する制限速度には対応しておりませんので、あらかじめご了承ください。状況に応じた規制速度で走行してください。
・走行速度は、GPS の測位状況や GPS の電波を受信できない場所では、実際の速度と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。（本機が別売品の OBD II アダプター (☛10 ページ) で接続されている場合を除く。）

つづく

〈交差点監視ポイント〉

交差点監視ポイント警告の ON/OFF ができます。

ON	交差点監視ポイントの警告を行います。
OFF	交差点監視ポイントの警告を行いません。

本設定が ON の場合、交差点監視ポイントの約 300m 手前で、『(右 / 左方向) すぐ先　交差点監視ポイントです。』とお知らせします。

・交差点監視ポイントは、過去に交差点で検問が行われていたポイントを指します。

〈信号無視抑止システム〉

信号無視抑止システム告知の ON/OFF ができます。

ON	信号無視抑止システムの告知を行います。
OFF	信号無視抑止システムの告知を行いません。

本設定が ON の場合、交差点監視ポイントの約 300m 手前で、『(右 / 左方向) すぐ先　信号無視抑止システムです。』とお知らせします。

〈高速交通警察隊〉

高速交通警察隊告知の ON/OFF ができます。

ON	高速道　交通警察隊の告知を行います。
OFF	高速道　交通警察隊の告知を行いません。

本設定が ON の場合、高速道路交通警察隊待機所の約 500m 手前から通過直前に、『(右 / 左方向) 500m 先　高速道　交通警察隊待機所です。』とお知らせします。

・GPS 測位状況や走行ルートによって、距離の告知『500m 先』を『300m 先 /200 m先 /100m 先 / すぐ先』とお知らせすることがあります。

〈駐禁監視エリア (駐禁監視エリア告知)〉

駐禁監視エリア告知の ON/OFF ができます。

ON	駐禁監視エリアの告知を行います。
OFF	駐禁監視エリアの告知を行いません。

本設定が ON の場合、本機に登録されている違法駐車取締り活動ガイドラインの最重点地域・重点地域内で停車すると、『この付近　駐禁最重点 (重点) エリアです。』とお知らせします。

・駐車禁止エリアのアイコンは駐禁最重点 (重点) エリア内に進入した時点で非表示から表示に変わります。(☛33 ページ)

〈一時停止注意ポイント〉

一時停止注意ポイント表示の ON/OFF ができます。

ON	一時停止注意ポイントの告知を行います。
OFF	一時停止注意ポイントの告知を行いません。

本設定が ON の場合、登録されている一時停止注意ポイントをアイコン表示します。

・東京都 23 区内／名古屋市内／大阪市内の一時停止注意ポイントが登録されています。

〈エヌ (N) システム〉

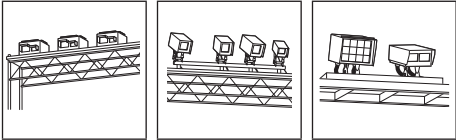
「N システム告知」の ON/OFF ができます。

ON	Nシステムの告知を行います。
OFF	Nシステムの告知を行いません。

本設定が ON の場合、N システムの約 300m 手前から通過直前に、『(右／左方向) すぐ先 (高速道) N システムです』とお知らせします。

・N システム告知が行われた場合でも、実際は稼働していない N システムもあります。

N システムとは？

「自動車ナンバー読み取り装置」の略称で、その名のとおり走行中の自動車のナンバーを道路上に設置した赤外線カメラにより自動的に読み取り、そのデータを各都道府県の警察本部などに専用線を通して送信する装置で、自動車を利用した犯罪の捜査や盗難車両の検挙、発見などを効率的に行うことを目的に開発、導入されたものです。

〈交通監視システム〉

「交通監視システム告知」の ON/OFF ができます。

ON	交通監視ポイントの警告を行います。
OFF	交通監視ポイントの警告を行いません。

本設定が ON の場合、交通監視システムの約 300m 手前から通過直前に、『(右／左方向) すぐ先 交通監視システムです』とお知らせします。

交通監視システムとは？

交通監視システムとは「画像処理式交通流計測システム」などと言われているシステムで、道路上に設置したCCDカメラで撮影した画像を処理し、交通量、速度、車種などを計測するものです。
本システムは東京都港湾局の管轄で、計測した車速により『速度落とせ』や『速度オーバー』等を掲示板で警告しますが、スピード取締りの実積はありません。

・交通監視システムは現在、一般道のみに設置されています。

〈警察署〉

「警察署告知」の ON/OFF ができます。

ON	警察署の告知を行います。
OFF	警察署の告知を行いません。

本設定が ON の場合、警察署の約 500m 手前から通過直前に、『(右／左方向) 500 m先 警察署です』とお知らせします。

・GPS の受信状況や G センサー / ジャイロセンサーの動作状況により、距離の告知『500m 先』を『300m 先／ 200m 先／ 100m 先／すぐ先』とお知らせすることがあります。

〈交番〉

「交番告知」の ON/OFF ができます。

ON	交番の告知を行います。
OFF	交番の告知を行いません。

本設定が ON の場合、登録されている交番ポイントをアイコン表示します。

〈事故多発エリア〉

「事故多発エリア告知」の ON/OFF ができます。

ON	事故多発エリアの告知を行います。
OFF	事故多発エリアの告知を行いません。

本設定が ON の場合、過去に事故が多発したエリアが登録されていて、約 300m 手前になると、『(右 / 左方向) すぐ先 事故多発エリアです』とお知らせします。

〈車上狙い多発エリア〉

「車上狙い多発エリア告知」の ON/OFF ができます。

ON	車上狙い多発エリアの告知を行います。
OFF	車上狙い多発エリアの告知を行いません。

本設定が ON の場合、本機に登録されている車上狙い多発地域内で停車すると、『この付近 車上狙い多発エリアです』とお知らせします。

・車上狙い多発エリアのアイコン (☛33 ページ) は、車上狙い多発エリア内に進入した時点で表示されます。

〈急カーブ〉

「高速道　急カーブ / 連続カーブ告知」の ON/OFF ができます。

ON	高速道　急カーブ・連続カーブの告知を行います。
OFF	高速道　急カーブ・連続カーブの告知を行いません。

本設定が ON の場合、高速道路の急カーブや連続するカーブにさしかかると、『(右 / 左方向)　この先 高速道 急(連続) カーブです』とお知らせします。

〈分岐合流ポイント〉

「高速道　分岐 / 合流ポイント告知」の ON/OFF ができます。

ON	高速道　分岐・合流ポイントの告知を行います。
OFF	高速道　分岐・合流ポイントの告知を行いません。

本設定が ON の場合、高速道路の分岐 / 合流ポイントにさしかかると、『この先 高速道 分岐 (合流) ポイントです』とお知らせします。

・GPS の受信状況や G センサー / ジャイロセンサーの動作状況により、インターチェンジ出口走行中に、本線の分岐を告知することがあります。

〈踏切〉

「踏切表示」の ON/OFF ができます。

ON	踏切の表示を行います。
OFF	踏切の表示を行いません。

本設定が ON の場合、登録されている踏切のポイントをアイコン表示します。

〈ETC レーン〉

「ETC レーン事前案内」の ON/OFF ができます。

ON	ETCレーン事前告知を行います。
OFF	ETCレーン事前告知を行いません。

本設定が ON の場合、ETC のある料金所にさしかかると、『ETC レーンは　○○です』とお知らせします。

・ETC レーンは、左側、右側、中央、両サイドのいずれかでお知らせします。

〈サービスエリア〉

「サービスエリア告知」の ON/OFF ができます。

ON	サービスエリアの告知を行います。
OFF	サービスエリアの告知を行いません。

本設定が ON の場合、サービスエリアの約 1km 手前で『(右／左方向) 1km 先　高速道サービスエリアです』とお知らせします。

〈パーキングエリア〉

「パーキングエリア告知」の ON/OFF ができます。

ON	パーキングエリアの告知を行います。
OFF	パーキングエリアの告知を行いません。

本設定が ON の場合、パーキングエリアの約 1km 手前で『(右／左方向) 1km 先　高速道パーキングエリアです』とお知らせします。

〈ハイウェイオアシス〉

「ハイウェイオアシス告知」の ON/OFF ができます。

ON	ハイウェイオアシスの告知を行います。
OFF	ハイウェイオアシスの告知を行いません。

本設定が ON の場合、ハイウェイオアシスの約 1km 手前で『(右／左方向) 1km 先　高速道ハイウェイオアシスです』とお知らせします。

〈スマート IC(スマートインターチェンジ)〉

「スマート IC 告知」の ON/OFF ができます。

ON	スマートインターチェンジの告知を行います。
OFF	スマートインターチェンジの告知を行いません。

本設定が ON の場合、サービスエリア、パーキングエリア、ハイウェイオアシス内にあるスマートインターチェンジをお知らせします。
パーキングエリア、サービスエリア、ハイウェイオアシスの告知後、スマートインターチェンジがある場合は、『1km 先 高速道　…スマートインターチェンジです』とお知らせします。

・サービスエリア、パーキングエリア、ハイウェイオアシスの設定が OFF の場合は、スマート IC 告知を行いません。

〈ガソリンスタンド〉

「サービスエリア / パーキングエリア内 ガスステーション告知」の ON/OFF ができます。

ON	SA/PA内ガスステーションの告知を行います。
OFF	SA/PA内ガスステーションの告知を行いません。

本設定が ON の場合、パーキングエリアやサービスエリアの告知後、ガスステーションがある場合は、『1km 先 高速道 …ガスステーションがあります』とお知らせします。

・ガスステーションのブランド名が登録されている場合は、ガスステーションのブランド名を告知します。
・サービスエリアとパーキングエリアの設定が OFF の場合は、ガスステーション告知を行いません。

〈トンネル〉

「高速道　長い / 連続トンネル告知」の ON/OFF ができます。

ON	高速道　長・連続トンネルの告知を行います。
OFF	高速道　長・連続トンネルの告知を行いません。

本設定が ON の場合、高速道路の長いトンネルや連続するトンネルの約 1km（500m）手前で、『(右／左方向)　1km(500m)先　高速道　長い(連続)トンネルです』とお知らせします。

〈ハイウェイラジオ〉

「ハイウェイラジオ受信エリア告知」の ON/OFF ができます。

ON	ハイウェイラジオ受信エリアの告知を行います。
OFF	ハイウェイラジオ受信エリアの告知を行いません。

本設定が ON の場合、ハイウェイラジオ受信エリアにさしかかると、『高速道ハイウェイラジオ受信エリアです』とお知らせします。

〈県境〉

「県境告知」の ON/OFF ができます。

ON	県境の告知を行います。
OFF	県境の告知を行いません。

本設定が ON の場合、高速道路と主要一般道路の県境にさしかかると、『この先　○○県です』とお知らせします。

・すべての道路の県境が登録されている訳ではありませんので、あらかじめご了承ください。

〈道の駅〉

「道の駅告知」の ON/OFF ができます。

ON	道の駅の告知を行います。
OFF	道の駅の告知を行いません。

本設定が ON の場合、道の駅の約 1km(500m)手前で、『(右／左方向) 1km(500 m)先　道の駅です』とお知らせします。

・道の駅とは、一般道にある休憩施設のことです。

〈ビューポイントパーキング〉

「ビューポイントパーキング告知」の ON/OFF ができます。

ON	消防署表示を行います。
OFF	消防署表示を行いません。

本設定がONの場合、ビューポイントパーキングの約1km(500m)手前で、『(右／左方向)　1km(500m)先　ビューポイントパーキングです』とお知らせします。

〈駐車場〉

「駐禁エリア付近駐車場表示」の ON/OFF ができます。

ON	駐禁エリア付近の駐車場の表示を行います。
OFF	駐禁エリア付近の駐車場の表示を行いません。

本設定が ON の場合、駐禁エリア付近に登録されている駐車場ポイントをアイコン表示します。

GPSターゲット・道路識別の設定

〈消防署〉

「消防署表示」の ON/OFF ができます。

ON	消防署表示を行います。
OFF	消防署表示を行いません。

本設定が ON の場合、登録されている消防署のポイントをアイコン表示します。

〈公衆トイレ〉

「公衆トイレ表示」の ON/OFF ができます。

ON	公衆トイレの表示を行います。
OFF	公衆トイレの表示を行いません。

本設定が ON の場合、登録されている公衆トイレのポイントをアイコン表示します。

〈道路識別（道路識別表示）〉

GPS ターゲットの警報をする道路を「AUTO」、「ALL」、「一般道」、「高速道」から選択できます。
※一般道（高速道）を走行中に頻繁に高速道（一般道）の警報を行う場合は、現在走行している道が「一般道」か「高速道」かを選択してください。
・GPS51 識別のハイウェイオアシスは、「一般道」に設定された場合は GPS 告知されません。

AUTO	走行道路（一般道か高速道）を自動識別します。 一般道路と識別できたときは、一般道のターゲットのみ警報し、高速道路と識別できたときは、高速道のターゲットのみ警報します。 ・一般道路と高速道路が並行していたり、交差している場合などで走行道路の識別が困難な状況では、一般道 / 高速道の両方のターゲットを表示・警告することがあります。 ・GPS 測位が困難な状況では、正しく識別できない場合があります。 ・高速道路を走行している時間が短い場合は、高速道に識別されない場合があります。 ・渋滞等により高速道路で低速走行もしくは停車している場合は、高速道に識別されません。
ALL	一般道路および高速道路のすべてのターゲットを警報します。
一般道	一般道路のターゲットのみ警報します。
高速道	高速道路のターゲットのみ警報します。

〈GPS 測位音〉

GPS 測位アナウンスを「ON/ アナウンスする」、「OFF/ アナウンスしない」のいずれかに選択できます。

ON	GPS測位アナウンスを行います。
OFF	GPS測位アナウンスを行いません。

・GPS 測位アナウンス
…電源を入れて 5 分以内に GPS 電波を受信した場合、『GPS を受信しました』とお知らせします。
…約 5 分経過しても、GPS 電波を受信できないと、『GPS をサーチ中です』とお知らせします。
・初期値は「ON/ アナウンスする」に設定されています。

無線・感度の設定

つづく

フローチャートにそって、無線の設定変更ができます。
・「お好みモード選択機能」（☛ 51 ページ）でマニュアルを選択した場合に設定内容が適応されます。
・詳しい操作方法は「レーダーメニューの設定内容を変更する」（☛ 49 ページ）をご覧ください。

無線・感度設定のフローチャート

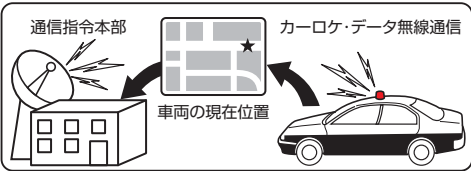
本機はタッチパネルです。無線の設定変更の際は、それぞれ下記の項目（画面）にタッチしていきます。

無線・感度設定の詳細説明

〈カーロケ(カーロケ無線)〉

カーロケ無線(カーロケーターシステム)

カーロケーターシステムとは？

カーロケーターシステムとは、「無線自動車動態表示システム」のことで、通信指令本部が移動局(パトカー等)の現在位置をリアルタイムで地図画面上に表示し、把握するシステムです。
カーロケーターシステムを搭載した移動局は、GPSによる緯度・経度情報をデジタル化し、407.7MHz帯の周波数でデータ伝送していますので、その電波受信により、移動局が近くにいる可能性が高いことを察知できます。

ON	カーロケ無線を受信すると音と表示でお知らせします。
OFF	カーロケ無線を受信してもお知らせしません。

・カーロケーターシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在は受信できる地域であっても、新システムへの移行により、受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムが導入された地域では、カーロケ無線の警報ができません。
・カーロケーターシステム搭載車であっても、使用されていない場合がありますので、カーロケ無線を受信できないことがあります。
・受信のタイミングによっては、実際の移動局の接近と受信のお知らせがズレる場合があります。

〈取締無線〉

取締無線の電波を受信した際、音と表示でお知らせします。

取締無線とは？

スピード違反の取締りや、シートベルト着用義務違反の取締り現場で、連絡用として使用する無線(350.1MHz)のことです。

ON	取締無線を受信すると音と表示でお知らせします。
OFF	取締無線を受信してもお知らせしません。

・取締り現場での連絡方法には350.1MHzの電波を用いた無線の他に、有線方式などもあり、受信自体ができない場合もあります。

〈デジタル(デジタル無線)〉

デジタル無線の電波を受信した際、音と表示でお知らせします。

デジタル無線とは？

各都道府県警察本部と移動端末間で交信するためのもので、移動端末から各都道府県警察本部へ送信する際に、159～160MHz帯の周波数が使われていますので、その電波受信により、移動局が近くにいる可能性が高いことを察知できます。
カーロケ帯受信機能と同じように、事前に察知することにより、緊急車両の通行の妨げにならないようにするなど、安全走行に役立ちます。

ON	デジタル無線を受信すると音と表示でお知らせします。
OFF	デジタル無線を受信してもお知らせしません。

〈特小無線〉

特小無線(特定小電力無線)の電波を受信した際、音と表示でお知らせします。

ON	特小無線を受信すると音と表示でお知らせします。
OFF	特小無線を受信してもお知らせしません。

・取締り現場の連絡用として使われていない場合もありますので、ご了承ください。

〈署活系(署活系無線)〉

署活系無線の電波を受信した際、音と表示でお知らせします。

署活系無線とは？

パトロール中の警察官が警察本部や他の警察官との連絡用として使われる無線が署活系無線です。

ON	署活系無線を受信すると音と表示でお知らせします。
OFF	署活系無線を受信してもお知らせしません。

〈警察電話〉

警察電話の電波を受信した際、音と表示でお知らせします。

警察電話とは？

移動警察電話(移動警電)ともいい、警察専用の自動車携帯電話システムのことです。

ON	警察電話を受信すると音と表示でお知らせします。
OFF	警察電話を受信してもお知らせしません。

〈警察活動(警察活動無線)〉

警察活動無線の電波を受信した際、音と表示でお知らせします。

警察活動無線とは？

主に機動隊の連絡用無線で、行事などの警備用として、限られた範囲で使用されている無線です。

ON	警察活動無線を受信すると音と表示でお知らせします。
OFF	警察活動無線を受信してもお知らせしません。

〈レッカー（レッカー無線）〉

レッカー無線の電波を受信した際、音と表示でお知らせします。

レッカー無線とは？

主に関東／東海／阪神の一部地域で、レッカー業者が駐車違反や事故処理のときに、連絡用として簡易業務用無線を使用しています。このため他の簡易業務用無線を受信しても、レッカー無線警報をすることがあります。あらかじめご了承ください。

ON	レッカー無線を受信すると音と表示でお知らせします。
OFF	レッカー無線を受信してもお知らせしません。

〈ヘリテレ（ヘリテレ無線）〉

ヘリテレ無線の電波を受信した際、音と表示でお知らせします。

ヘリテレ無線とは？

「ヘリコプター画像伝送システム連絡用無線」の略称で、ヘリコプターを使って事件や事故処理、または取締りを行うときなどに地上との連絡用として使われる無線のことです。

ON	ヘリテレ無線を受信すると音と表示でお知らせします。
OFF	ヘリテレ無線を受信してもお知らせしません。

・一部地域や一部ヘリコプターで、ヘリテレ無線が装備されていない場合や使用されていない場合は受信できないことがあります。

〈消防ヘリテレ（消防ヘリテレ無線）〉

消防ヘリテレ無線の電波を受信した際、音と表示でお知らせします。

消防ヘリテレ無線とは？

「ヘリコプター画像伝送システム連絡用無線」の略称で、ヘリコプターを使って事件や事故処理、または取締りを行うときなどに地上との連絡用として使われる無線のことです。

ON	消防ヘリテレ無線を受信すると音と表示でお知らせします。
OFF	消防ヘリテレ無線を受信してもお知らせしません。

・一部地域や一部ヘリコプターで、消防ヘリテレ無線が装備されていない場合や使用されていない場合は受信できないことがあります。

〈消防無線〉

消防無線の電波を受信した際、音と表示でお知らせします。

消防無線とは？

災害・救助活動で使用する消防用署活系無線（携帯用400MHz帯）のことです。

ON	消防無線を受信すると音と表示でお知らせします。
OFF	消防無線を受信してもお知らせしません。

・消防本部等で広域に使用されているVHF帯（150MHz帯）の通信は受信できませんので、ご了承ください。

〈新救急無線〉

新救急無線の電波を受信した際、音と表示でお知らせします。

新救急無線とは？

救急車と消防本部の連絡用として使われる無線のうち、首都圏の特定の地域で使われている無線のことです。あらかじめ受信察知することにより、救急車の通行の妨げにならないようにするためのものです。

ON	新救急無線を受信すると音と表示でお知らせします。
OFF	新救急無線を受信してもお知らせしません。

〈高速道無線〉

高速道路無線の電波を受信した際、音と表示でお知らせします。

高速道路無線とは？

NEXCO東日本、NEXCO中日本、NEXCO西日本の業務連絡用無線で、主に渋滞や工事・事故情報などでパトロール車両と本部との連絡に使用されています。

ON	高速道路無線を受信すると音と表示でお知らせします。
OFF	高速道路無線を受信してもお知らせしません。

〈警備無線〉

警備無線の電波を受信した際、音と表示でお知らせします。

警備無線とは？

主に警備会社が使用する無線のことです。

ON	警備無線を受信すると音と表示でお知らせします。
OFF	警備無線を受信してもお知らせしません。

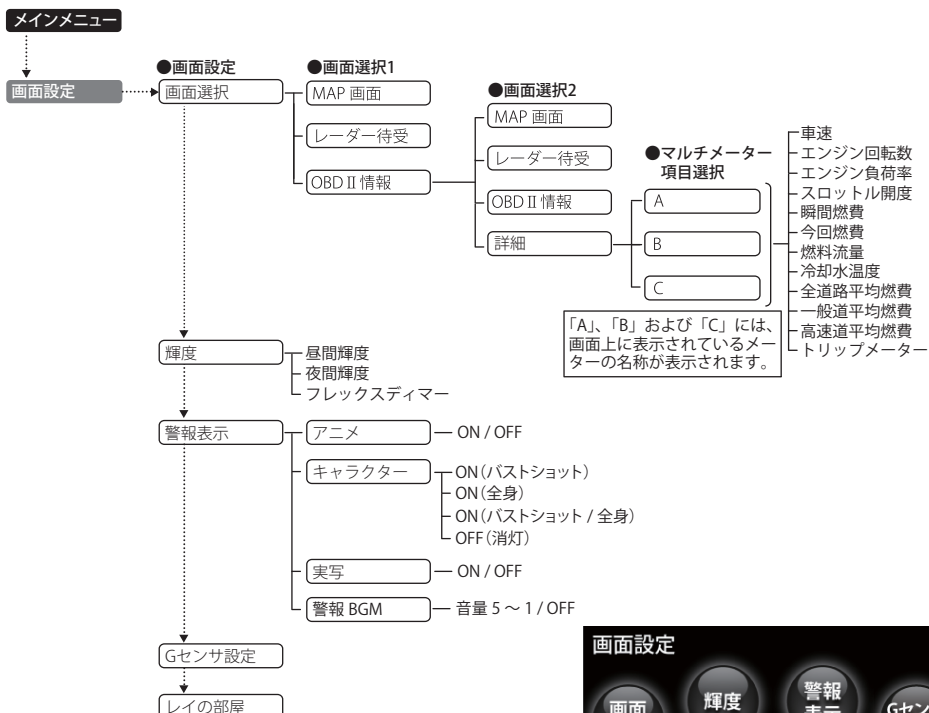
〈感度（無線感度設定）〉

無線の受信感度を「HI」、「LO」から選択できます。。

無線 HI	無線の受信感度を高くします。
無線 LO	無線の受信感度を低くします。

フローチャートにそって、画面設定（画面の変更などを行う）ができます。

画面設定のフローチャート

本機はタッチパネルです。システム情報の確認などを行う際は、それぞれ下記の項目（画面）にタッチしていきます。

〈画面選択〉

警報やお知らせがない間に表示させる画面（メイン画面）を、[MAP 画面]、[レーダー待受] および [OBD II 情報] から選択することができます。(☛18 ページ)

- [OBD II 情報] 選択時のみ [詳細] が表示され、タッチするとマルチメーターに表示させるメーターの項目選択画面に移行します。

〈輝度〉

昼間輝度と夜間輝度（明るさ）の設定と、昼間 / 夜間の切り替えを自動で行うフレックスディマーの ON/OFF ができます。

- 輝度の調整は「0」～「5」の 6 段階で行うことができます。(☛32 ページ)
- [フレックスディマー] にタッチするたびに ON/OFF が切り替わります。

〈警報表示〉

警報が発生した場合に表示させる画面を [アニメ]、[キャラクター]、[実写] から選択することができます。すべてを消灯させると OFF になります。OFF にすると文字と音声（警報音）での警報になります。(☛31 ページ)

[アニメ]

ON（青）	警報画面が[アニメ]になります。
OFF（消灯）	[アニメ]表示をしません。

[キャラクター]

	常時表示
ON（バストショット）	○
ON（全身）	○
ON（全身 / バストショット自動切替）	○
OFF（消灯）	×

※コスチュームによっては、キャラクターの表示が変化しない場合があります。

[実写]

ON（青）	警報画面が[実写]になります。
OFF（消灯）	[実写]表示をしません。

〈警報 BGM〉

警報 BGM を ON にすると、警報時に警報音声とともに BGM が流れます。OFF にすると、警報時は警報音と警報音声でお知らせします。

- 警報表示で [キャラクター] を選択した時のみ ON / OFF および音量調節が可能ですが、状況により OFF になることがあります。[キャラクター] OFF を選択すると BGM は流れません。
- 音量の調整はボタンをタッチするごとに、音量「5」～「1」、「OFF」が順番に切り替わります。
- [アニメ]、[実写] を選択すると BGM は流れません。

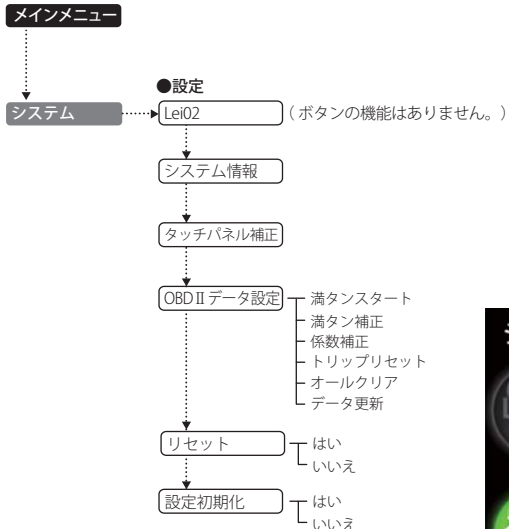
〈G センサ設定〉

本機で「発進」「停止」「右折」「左折」時の G センサの感度を調整できます。

- それぞれの数値を小さくすると感度が敏感に、数値を大きくすると感度が鈍感になります。車両に応じてお好みの感度に調整してください。
- 調整が終わったらメイン画面をタッチすると、設定が完了しメイン画面に戻ります。

フローチャートにそって、システム設定（OBD Ⅱデータ設定など）を行うことができます。

設定のフローチャート

本機はタッチパネルです。システム設定の変更の際は、それぞれ下記の項目（画面）にタッチしていきます。

設定の詳細説明

〈Lei02〉

ボタンの機能はありません。

〈システム情報〉

ソフトウェアのバージョンなどが表示されます。

〈タッチパネル補正〉

画面にタッチしたときの反応が悪い場合やズレがある場合、次の手順でタッチパネルを補正してください。

1.[タッチパネル補正] にタッチすると、「＋を押してください。」と表示されます。画面に表示される [＋] に爪先などでタッチしてください。
2.「再度確認のため＋を押してください。」と表示されますので、画面の [＋] にタッチします。
3. 補正が完了すると、「完了 画面を押してください。」が表示され、画面にタッチすると、システム設定の画面に戻ります。

※途中で「エラーです。最初からやり直してください。」のメッセージが表示された場合は、画面にタッチし、もう一度最初からやり直してください。

〈設定初期化〉

お買い上げ後に変更した設定がリセットされます。
[設定初期化] にタッチすると、「初期化しますか？」と表示されます。
設定初期化したい場合は、「はい」にタッチしたあと、[メイン画面] にタッチしてください。

- 設定を初期化しても、それまでに取得した壁紙、音声フレーズは消去されません。
- 本機に登録されているオービス等の GPS データが消去されることはありません。

〈リセット〉

お買い上げ時の状態にリセットします。
[リセット] にタッチすると、「リセットしますか？」と表示されます。
リセットしたい場合は、「はい」にタッチしたあと、[メイン画面]にタッチしてください。

- リセットすると、設定内容やそれまでに取得した壁紙、音声フレーズもすべて消去され、元に戻すことはできませんのでご注意ください。
- 本機に登録されているオービス等の GPS データが消去されることはありません。

〈OBD Ⅱデータ設定〉

OBD Ⅱ情報 (☛25 ページ) の表示についての詳細設定ができます。

満タンスタート

この手順を行うと、OBD Ⅱアダプター（OBD12-RP）で接続された本機に表示される燃費関係の数値や表示の精度を向上させることができます。

- ガソリンスタンド等の必ずその場で給油できる場所で行ってください。
- 手順 1 ～ 5 が完了するまで、車両の移動を行わないでください。

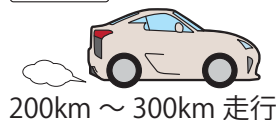
1 燃料を満タンまで給油し、油面の位置を覚えておいてください

- 車種や燃料タンクの構造によって、満タンまで給油したと思っても油面が低下していく場合があります。必ず油面の低下が止まった時点の油面の位置を覚えておいてください。

2 車両側のトリップメーターを「0km」にリセットします

3 [満タンスタート] にタッチする

- 確認メッセージが表示されます。

つづく

4 [はい]にタッチする

5 確認メッセージが消えます。[メイン画面]にタッチし、[メイン画面]に戻ります

- ひとつ前の画面に戻る場合は、[戻る] にタッチします。
- [メイン画面] にタッチしないと、変更が確定しません。

6 200km～300kmを無給油で走行してください

⚠注意

満タンスタートの手順を行っただけでは、補正は完了しません。満タン補正ができる状態になりましたら、必ず満タン補正を行ってください。

（白色文字表示）[満タン補正] を行ってください。

（灰色文字表示）もっと走行しないと [満タン補正] できません。

走行中に、[OBD Ⅱ データ設定] 画面を表示させたままにしておく必要はありません。
お好みの各種 MAP 画面 / レーダー待受 /OBD Ⅱ 情報を表示させておくことができます。

<メイン画面例>

[MAP 画面]

[レーダー待受]

[OBD Ⅱ 情報]

満タン補正

実際に走行した走行距離と燃料の給油量を本機に入力し、補正を完了させます。

⚠注意

この手順は、[満タンスタート]の手順を行ったあと、200km～300kmを無給油で走行中に、[満タン補正]の実施が可能にならないと行うことはできません。

下図のように、[OBD Ⅱ データ設定] 画面の [満タン補正] ボタンが灰色表示から白色表示に変わったことを確認してください。

（白色文字表示）[満タン補正] を行ってください。

（灰色文字表示）もっと走行しないと [満タン補正] できません。

- ガソリンスタンド等の必ずその場で給油できる場所で行ってください。
- 手順が完了するまで、車両の移動を行わないでください。

1 前回給油した時の位置まで給油してください

- 車種や燃料タンクの構造によって、満タンまで給油したと思っても油面が低下していく場合がありますのでご注意ください。

2 車両側のトリップメーターの数値を読み取ってください

- 本機 OBD 画面のトリップメーターの数値ではなく、車両側トリップメーターの数値を読み取ってください。

3 [満タン補正]にタッチする

- 補正画面が表示されます。

つづく

4 下図の要領で、「距離」と「燃料」に走行距離と給油量を入力してください

5 数値を正しく入力できたことを確認し、[確定]にタッチします。

6 [メイン画面]にタッチし、元の画面に戻ります

・[メイン画面] にタッチしないと、変更が確定しません。
・ひとつ前の画面に戻る場合は、[戻る] にタッチします。

・[満タンスタート] ～ [満タン補正] の手順は一度行えば、同じ車両に対して行う必要はありません。

係数補正

お手元に「距離係数」および「燃料係数」がある場合は、それらを本機に入力することにより [満タンスタート] ～ [満タン補正] の手順を行わなくても、同じように本機の燃費関係数値の補正を完了させることができます。[オールクリア] を行う前には、表示をメモしておくことをおすすめします。
・[距離係数] と [燃料係数] について
　[距離係数]、[燃料係数] とは、以下の係数補正の手順２の画面で表示される距離係数の数値および燃料係数の数値です

⚠注意

他社製品に表示されていた、雑誌等に掲載されていた、もしくはネットに掲載されていたなどの数値を本機に入力した場合、正常な表示/演算がされないことがあります。

1 [係数補正]にタッチする

・係数補正画面が表示されます。

2 下図の要領で、「距離係数」と「燃料係数」を入力してください

つづく

「変更できる桁（橙色文字）」の数値を増減します。

「変更できる桁（橙色文字）」を左右に移動させます。

3 数値を正しく入力できたことを確認し、[確定]にタッチします

4 [メイン画面]にタッチします

[メイン画面]にタッチしないと、変更が確定しません。

・ひとつ前の画面に戻る場合は、[戻る]にタッチします。

・この手順は一度行えば、同じ車両に対して行う必要はありません。

トリップリセット

マルチメーターの中で選択できるトリップメーターの区間距離と区間燃費をリセットできます。

1 [トリップリセット]にタッチする

・確認画面が表示されます。

2 [はい]にタッチする

3 確認メッセージが消えます。[メイン画面]にタッチし、メイン画面に戻ります

・[メイン画面]にタッチしないと、変更が確定しません。

・ひとつ前の画面に戻る場合は、[戻る]にタッチします。

つづく

オールクリア

オールクリアは、OBD Ⅱに関連する本機内の数値が初期値に戻ります。（車両側 OBD Ⅱに影響はありません。）
オールクリアを行う前に、係数補正の画面で距離係数と燃料係数を確認し、メモしておくことをおすすめします。

⚠注意

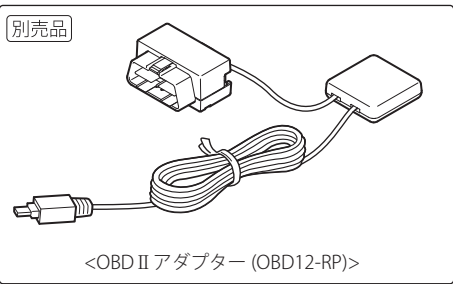
この手順を行い、初期値となった数値を元に戻すことはできませんので、ご注意ください。

1 [オールクリア]にタッチする
・確認画面が表示されます。

2 [はい]にタッチする

3 確認メッセージが消えます。[メイン画面]にタッチします
・[メイン画面] にタッチしないと、変更が確定しません。
・ひとつ前の画面に戻る場合は、[戻る] にタッチします。

データ更新

<OBD Ⅱ アダプター (OBD12-RP)>

OBD Ⅱアダプター（OBD12-RP）のファームウェアを新しいバージョンに更新する際に行う手順です。
・更新は弊社 HP でご案内しますので、それ以外はこの手順を行わないでください。

1 [データ更新]にタッチする
・確認メッセージが表示されます。

2 [はい]にタッチする

3 確認メッセージが消えます。[メイン画面]にタッチし、元の画面に戻ります
・[メイン画面] にタッチしないと、変更が確定しません。
・ひとつ前の画面に戻る場合は、[戻る] にタッチします。

GPSターゲットデータ更新サービス

パソコンでのダウンロード、microSD カードをお送りするお届けプラン、本体お預かり更新サービスで本機の GPS ターゲットデータの更新を行っていただけます。
※地図データの更新はできません。

各種更新サービスについての詳細は下記ホームページを参照ください。
http://www.yupiteru.co.jp/gps/index.html

パソコンでのダウンロード、microSD カードをお送りするお届けプランをご利用の際には、ity.クラブにご入会ください。入会手続きは下記ホームページから行っていただけます。

◆ity. クラブホームページアドレス
http://www.yupiteru.co.jp/ityclub/index.html

電話でのお問い合わせは下記フリーコールにお願いします。
◆ユピテルity. クラブ窓口
受付時間 9:00 ~ 17:00 月曜日 ~ 金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)
フリーコール 0120-998-036

本機お預かり更新サービスをご要望される場合は、お買い上げの販売店、または、専用お問合わせ先にご依頼ください。(☛98ページ)

取締りのミニ知識

つづく

取締りの方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。

スピード違反の取締り方法

大きく分けて3つの方法があります。

1. レーダー波を使って算出する方法(レーダー方式)

取締りレーダー波を対象の車に向けて発射し、その反射波の周波数変化(ドップラー効果)で速度を算出します。

- 対象の車が近くに来るまで、取締りレーダー波を発射しないステルス型の場合、事前に探知できません。

2. 距離と時間で算出する方法(光電管・ループコイル式オービス)

一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。
測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や磁気スイッチなどが使われています。

- この方式は取締りレーダー波を発射しておりません。GPS ターゲットとして登録されている場合のみ、警報することができます。

3. 追走して測定する方法(追尾方式)

指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車を追走して速度を測ります。

- 追尾方式等で取締りレーダー波を発射しない機械式の計測方法の場合は、探知することができません。

取締りのミニ知識

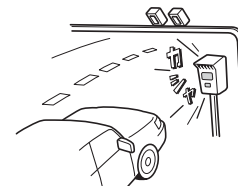
取締りレーダー波について

取締りレーダー波は、発射するときの角度や装置の種類によって性質が異なります。

定置式

人が測定装置を道路際に設置して行います。
取締りレーダー波は、直進性が強いため、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。

自動速度取締り機(新Hシステム、レーダー式オービス)

速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。

移動式

測定装置をパトカーに搭載して、移動しながら測定を行います。

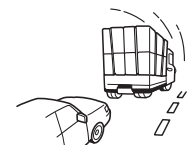
取締りレーダー波を受信しにくい場合

取締りレーダー波の発射方法や周囲の環境、条件などにより、取締りレーダー波を受信しにくいことがあります。

- 対象の車が近くに来るまで、取締りレーダー波を発射しない狙い撃ち的な取締りができるステルス型のスピード測定装置があります。
- 前に走行している車(とくに大型車)がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。

〔前に走行中の車がある場合〕　〔下り坂〕　〔コーナー〕

仕様

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

●電源電圧　：DC 12 V（マイナスアース車専用）
●消費電流　：[待機時]
400mA以下（UHF/VHF部OFF）
[最大]
550mA以下
●受信方式　：[GPS部]
16チャンネル/パラレル受信方式
[レーダー部]
スイープオシレーター式ダブルスーパーヘテロダイン方式
●測位更新時間：最短 1秒
●表示部　：3.2インチワイドMVA液晶タッチパネル

●受信周波数　：[GPS部] 1.6GHz帯
[レーダー部] Xバンド/Kバンド
[UHF部] 336～470MHz帯
[VHF部] 154～163MHz帯
●動作温度範囲：－20℃～＋85℃
（UHF/VHF部：－10℃～＋60℃）
●データ容量　：4GB内蔵メモリ
●外形寸法・重量・他
外形寸法　：107（W）×55（H）×28（D）mm
重量　：約120g

※ この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中ではTMや®などの記号を記載しない場合があります。
※ この説明書の内容のすべて、もしくは一部を弊社に無断で使用、または転載することを禁じます。

取扱説明書は随時更新されます。最新版の取扱説明書は当社ホームページにてご確認ください。
http://www.yupiteru.co.jp/

画面表示の英語・日本語対照表

つづく

GPS ターゲット

分類	英語	日本語	備考
オービス	Orbis Rader	レーダー式	
	H System	H システム	
	LH System	LH システム	
	Loop Coil	ループコイル	
	Photocell	光電管式	
取締エリア	Ctrl Area Lv1 ～ Lv5	取締エリア Lv1 ～ Lv5	
	Moving Orbis	移動オービス	
	Speed Trap	ネズミ捕りエリア	
	Following Trap	追尾式取締エリア	
	Crossing Trap	交差点取締エリア	
検問エリア	CP Lv1 ～ Lv5	検問 Lv1 ～ Lv5	
	CP SeatBelt	シートベルト検問エリア	
	CP Mobile	携帯検問	
	CP Alcohol	飲酒検問エリア	
1km 手前で表示	Service Area	サービスエリア	
	Parking Area	パーキングエリア	
	Long Tunnel	長いトンネル	
	Cont Tunnel	連続トンネル	
	Road Oasis	道の駅	
	View Point	ビューポイントパーキング	
	HW Oasis	ハイウェイオアシス	
500m 手前で表示	HW Bend	急カーブ	
	HW Cont Bend	連続カーブ	
	Police St.	警察署	
	HW Police	高速交通警察隊	
300m 手前で表示	N System	N システム	
	NK System	交通監視システム	
	Intersection	交差点監視ポイント	
	Accidental	事故多発エリア	
	Obedience	信号無視抑止システム	
200m 手前で表示	HW Turning	分岐ポイント	
	HW Junction	合流ポイント	
100m 手前で表示	HW Radio	ハイウェイラジオ	
	Border	県境	
	ETC Lane	ETC レーン	
	Stop Sign	一時停止取締エリア	
	Parking Lot	駐車場	
駐車禁止エリア警報	No Parking	駐禁最重点エリア	
	No Parking	駐禁重点エリア	
車上狙い多発エリア	Car Break	車上狙い多発エリア	
速度制限切り替え	Speed Change	制限速度切替ポイント	

無線

分類	英語	日本語	備考
無線	PC Approach	カーロケ近接	ベストパートナー 6 識別
	PC Faraway	カーロケ遠方	
	PC Pursuing	並走追尾	
	PC Passing	すれ違い	
	Police Sign	取締シグナル	
	CP Sign	検問シグナル	
	PC Out	カーロケ圏外	
	PC In	カーロケ圏内	
	Police	取締	
	Car Digital	デジタル	
	Plolice Heli	ヘリテレ	
	LoPwr Police	特小無線	
	Police Phone	警察電話	
	Police Radio	警察活動無線	
	Policeman	署活系	
	Fireman	消防無線	
	Fireman Heli	消防ヘリテレ	
	Wrecker	レッカー	
	Ambulance	新救急	
	HW Patrol	高速道路無線	
	Guard	警備無線	

レーダー

分類	英語	日本語	備考
レーダー	Stealth	ステルス	
	Rader Rader Lv1 ～ 5	レーダー レーダーレベル 1 ～ 5	
	Cancel	キャンセル	

マルチメーター

英語	日本語	備考
Moment FC	瞬間燃費	FC: Fuel Cost RFC: Road Fuel Cost
OneTime FC	今回燃費	
All RFC	全国道平均燃費	
General RFC	一般道平均燃費	
HW FC	高速道平均燃費	
Water Temp	冷却水温度	
Fuel Flow	燃料流量	
Engine RPM	エンジン回転数	
Speed	車速	
Engine Load	エンジン負荷率	
Throttle	スロットル開度	
Trip Meter	トリップメーター	

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社ご相談窓口にご相談ください。

症　状	チェック項目
電源が入らない	• 電源スイッチがONになっていますか。 • シガープラグコード、USB電源直結コードまたはOBDアダプターがはずれていませんか。 • シガーライターソケットの内部が汚れて、接触不良を起こしていませんか。2、3回左右にひねりながらシガーライターソケットに差し込み直してください。 • シガープラグコードやUSB電源直結コード内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は、同じ容量(2A)の新しいヒューズと交換してください。 • OBD II アダプター内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は、同じ容量(2A)の新しいヒューズと交換してください。 • 初めてOBD II アダプター(OBD12-RP)を車両に取り付ける場合は、本機の起動に数分かかることがあります。
エンジンを止めて、イグニッションをOFFにしても、電源がOFFにならない	• シガーライターソケットの電源が、イグニッションのON/OFFと連動してON/OFFしない車があります。このような車では、エンジンを止めても、シガーライターソケットに電源が供給されますので、その場合は本機の電源スイッチで電源をOFFにしてください。 • シガーライターソケットの電源が、イグニッションのON/OFFと連動してON/OFFされる車でも、OBD II アダプター(OBD12-RP)取り付け時はイグニッションのOFFから、本機の電源がOFFになるまでに数秒から数十秒かかります。
レーダー警報しない	• 電源が入っていましたか。 • 取締りレーダー波が発射されていましたか。計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型など、取締り準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。 • アイキャンセルされていませんか。(☛55ページ) • 受信感度モードが「AAC/ASS」または「AAC/SE」の場合、時速30km未満のときは警報しません。(☛56ページ)
音が出ない	• 音量「0」になっていませんか、音量を調節してください(☛16ページ) • 警報音のミュート(消音)がはたらいていませんか(☛30ページ)
現在地を表示しない	• GPS測位していますか。
地図にズレが出る	• GPS測位していましたか。障害物や遮蔽物の無い視界の良い場所へ移動してみてください。 • マーク・名称が重なって表示されることがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。
GPS 警報しない	• GPS測位していましたか。 • 新たに設置されたオービスなどのターゲットではありませんか。

症　状	チェック項目
取締りもしていないのに警報機能がはたらく	• 取締りレーダー波と同じ電波が他でも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能がはたらくことがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。 ――取締りレーダー波と同じ電波を使用している主な機器―― • 電波式の自動ドア、防犯センサー／信号機の近くに設置されている車両通過計測機／NTTのマイクロウェーブ通信回線の一部／気象用レーダー、航空レーダーの一部／他のレーダー探知機の一部 • まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。
警報の途中で警報音が小さくなる	• レーダー波の受信が約30秒以上続くと、警報音が小さくなります。
モニター画面に斑点や輝点がある	• 液晶パネルの現象です、故障ではありません。（有効画素の中に画素欠けや常時点灯する場合があります。）
ひんぱんに無線警報する	• 放送局や無線中継局、携帯電話の基地局などが近くにある場合、強い電波の影響や周囲の状況により、受信状態になることがあります。 また、取り付けた車やカーナビの画面、カーオーディオなどから強い電波が放射している場合があります。
一般道を走行中に高速道のターゲットを GPS 警報する	• 「道路識別」の設定（☛70ページ）を「ALL」でご使用の際は、一般道と高速道の両方のターゲットを警報します。 • 一般道と高速道が並行していたり、交差している場所およびその周辺などで走行道路の識別が困難な状況では、一般道/高速道の両方のターゲットを表示・警報することがあります。 • ハイウェイオアシスは、「一般道」に設定された場合もGPS告知されます。
取締り現場なのに350.1MHz を受信しない	• 「取締無線」を「ON」に設定していましたか。 • 取締り現場での連絡が無線方式で行われていましたか。連絡には350.1MHzの電波を使った無線方式の他に、有線方式の場合もあります。
N システム告知しない	• 「Nシステム」の設定は「ON」になっていましたか。 • GPS測位していましたか。 • 新設のNシステムなどで、未登録の場合は、告知されません。
誤警報がキャンセルされない	• 「アイ（Ｉ）キャンセル」（インテリジェントキャンセル）の設定は「ON」になっていましたか。（☛55ページ） • スペシャルモードになっていませんか。スペシャルモードは「アイキャンセル」の設定を「ON」にすることができません。（☛51ページ） • GPS測位していましたか。（☛38ページ） • 新Hシステムやレーダー式オービスが近くにありませんでしたか。 • 取締エリア、またはマイエリア登録したエリアではありませんか。

症　状	チェック項目
速度表示が車両の速度計と異なる	• 車両の速度計は、実際より数値が高く表示される（プラス誤差）傾向があります。 ※OBD Ⅱ接続の場合でも車両の速度計とは一致しません。 ※補正機能はありません。
OBD Ⅱ接続時に、表示される待受画面の項目の一部が、表示されない	• 車種によって、待受画面の一部の項目が表示されない場合があります。（車種別の適応については、販売店または弊社ホームページでご確認ください。）
OBD Ⅱ接続時に、スロットル開度が、アイドリング中でも0%にならない	•車種によって、「スロットル開度」はエンジンがアイドリング状態でも表示が0%にならないことがあります。
OBD Ⅱ接続時に、待受画面の項目の内容が、車両のメーターと異なる	• 車種によって、表示する内容は純正メーターの数値やタイミングと異なる場合があります。
OBD Ⅱ接続時に、突然本機の電源がOFFになった	• OBD Ⅱアダプターのコネクターが外れていないか確認してください。車両の振動等によってコネクターが緩むことがあります。

地図データベースについて

- MAPPLE10000　2010年3月10日発行
  この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の1万分の1地形図を使用したものである。
  （承認番号　平21業使　第34－M04924X号）
- MAPPLE25000　2010年3月10日発行
  この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用したものである。
  （承認番号　平21業使　第35－M04924X号）
- MAPPLE200000　2010年3月10日発行
  この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分の1地形図を使用したものである。
  （承認番号　平21業使　第37－M04924X号）
- MAPPLE1000000　2010年3月10日発行
  この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の100万分の1日本、50万分の1地方図及び数値地図500万（総合）を使用したものである。
  （承認番号　平21業使　第38－M04924X号）

【データについて】

本地図データ構築にあたっては使用した情報は下記の基準により、調査・取材を行ったものです。

- 主要道路の開通や主要設備の開設・閉鎖、市町村合併や町名の新設といった重要情報と取材や情報提供によって取得した店舗改廃情報情報等については、2009年12月までに判明した2010年3月までに実施される情報に基づいています。
- その他の情報については、概ね2005年5月から2009年10月までの実走調査によって取得した情報に基づいています。

＜ご注意＞

- データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なることもありますのでご了承ください。
- いかなる形式においても著作権者に無断でこのデータの全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

その他

MEMO

その他

アフターサービスについて

●保証書（裏表紙参照）
保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間
お買い上げの日から1年間です。

●対象部分
機器本体（消耗部品は除く）

●修理をご依頼されるとき
「故障かな？と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名（品番）、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。

ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、下記の専用お問合わせ先へご相談ください。

〇保証期間中のとき
保証書裏面の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

〇保証期間が過ぎているとき
まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※ 点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。
※ 修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

受付時間　9：00～17：00　月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く）

霧島レイCLUB専用ダイヤル　フリーダイヤル 0120-630-445
携帯・PHS OK　※携帯・自動車電話・PHSからもご利用になれます。

霧島レイCLUB専用メールアドレス　webmaster@lei-kirishima.jp

その他